

平成28年度

# 地域貢献活動報告書





# 群馬県立県民健康科学大

## 地域社会と交流を図り、ともに

### 県民に向けた地域貢献

#### 教育普及事業

▶県民向けの「公開講座」「公開授業」「出前講座」により本学の教育と研究成果を県民に直接的に還元



公開講座の様子



出前なんでも講座(トップ10入りの講座)の様子



**公開講座:**一般県民の方を対象に、定期的に公開講座を実施

**公開授業:**「群馬県民の文化と生活」「環境と健康概論」「人間の発達と健康概論」

**出前講座:**平成28年度37講座登録、希望に応じて展開  
H25年度 3783名参加・H26年度 3361名参加

- ◆一般住民・団体を対象とした講演・研修
- ◆行政組織での活動
- ◆他の教育機関における非常勤講師
- ◆出前なんでも講座の講師
- ◆県立高等学校等への出張講義(H27年度:17回)
- ◆桂萱地区・芳賀地区住民との協働
- ◆地域に開かれた図書館

出前なんでも講座  
(平成27年度)  
**6093名の県民**を対象に  
**107講座実施**  
講座全体の30%を  
本学教員が担当!!

#### 看護学分野

- 看護学教員養成課程
- 看護職研究支援事業

- 県立病院連
- 健康福祉政
- 教育普及事
- 地域連携推

県立の医療系大学として  
産や研究成果などを、県  
医療従事者、行政などに  
**県民の保健・医療・福祉**

### 目指す地域貢

本センターの活動を広く!  
Newsletter(年4回)及び  
発行しています。



学生と教職員が三位一体となって取り組む地域貢献

# 大学 地域連携センター 2016

に発展することを目指して

## 専門職に向けた地域貢献

### 県立病院連携事業

各病院が抱える課題解決に向け組織レベルで展開

病院局  
大学  
がんセンター  
小児医療センター

共同研究を通じた人材育成と大学への知の還元(教)  
産品の長期貸出(教)

### 健康福祉政策事業

群馬県 健康福祉部  
大学 看護学部 診療放射線学部

情報交換  
マンナング

- 群馬県看護教員継続教育プログラム開発
- 群馬県保健所等におけるX線発生装置の精度管理

### 診療放射線学分野

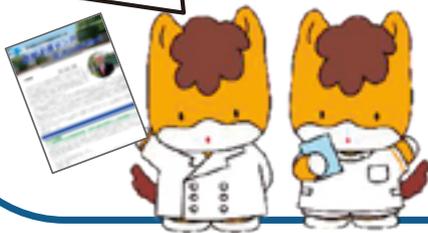
- 放射線教育・研修事業
- 放射線測定協力事業

院連携事業  
社政策事業  
及事業  
携推進事業

して、大学が所有する知的財、県民をはじめ広く関係機関、などに還元することにより、福祉の向上に寄与する

## 地域貢献の方向性

広く県民に周知するため、及び地域貢献活動報告書を



### 看護学教員養成課程

- 県内の看護院等養成所の看護学教員や医療現場で看護学教育の実践指導者を担当する者への教育機会を提供
- 本学の理念を貫くカリキュラムによる本学ならではの教育展開



学部教育(看護技術学実習)の参加観察

### 放射線教育・研修事業

- 学部指導要領の改訂に伴う学校教員等に対する放射線教育の支援
- 診療放射線技師の撮像技術向上、MRI専門技術者の資格取得を視野に入れた継続教育の実施



「国際協力型先端医療医学物理学指導者コース講演会」

本学におけるMRI講習会

### 看護職研究支援事業

- 「看護研究セミナー」と「看護研究個別支援」による看護職者への研究活動の支援
- テーマに合わせた担当教員の決定、10か月にわたる個別支援



「看護研究セミナー」と「看護研究個別支援」



## 平成28年度 地域貢献活動報告書の発刊にあたって



本学の地域連携センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果などを、県民をはじめ広く関係機関、医療従事者、行政などに対して還元することを通して、県民の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的として設置し、5年間を経過いたしました。その間、関係者の皆様には、地域連携センター事業の発展のために、ご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

平成28年度地域連携センター事業につきましては、地域貢献活動の一層の推進に向けて積極的に取り組んで参りました。

「教育普及事業」は、公開講座、出前なんでも講座、公開授業に取り組みました。

出前なんでも講座は、本学教職員が県民8,114名を対象として142回実施いたしました。人気講座ベスト10では、本学の講座が6講座ランクインいたしました。

「地域連携推進事業」は、Newsletterを年4回発行し、県民や関係機関への情報発信を行いました。また、平成27年度から開始した健康福祉政策事業では、健康福祉部との情報交換を行い、介護高齢課からの依頼に基づき、「認知症サポーター・ステップアップ講座教材開発事業」等に取り組みました。

「看護学教員養成課程」は、厚生労働省による専任教員養成講習会の認定を受け、本学の独自のカリキュラムに基づき、大学の人的、物的資源を最大限に活用した教育を展開いたしました。平成28年度は19名の修了生を輩出し、看護学教員及び病院の教育担当者として活躍しています。

「県立病院連携事業」は、県立4病院の看護部門及び診療放射線部門が抱える課題解決に向けて4病院共通及び各病院におけるテーマに沿って、本学教員と病院との協働による取組を行いました。

「看護職研究支援事業」は、県内の看護職者を対象として研究セミナーを開催し、セミナー受講後の希望者に対して、看護研究個別支援を10か月間に渡って実施いたしました。看護研究個別支援では、新規11グループ、継続6グループの支援を行い、研究活動の促進のために貢献いたしました。

「放射線教育・研修事業」は、本学のMR I装置を活用し、診療放射線技師の撮像技術の向上を目指した研修会や群馬MR研究会への支援、他施設との共同研究に取り組みました。診療放射線技師の業務拡大に伴い、群馬県診療放射線技師会が開催する講習会へ講師の派遣を行いました。また、診療放射線技師への研究支援事業では、講習会の開催とともに、産学官連携推進会議等において研究成果を発表いたしました。

さらに、新規事業として、「健康寿命延伸プロジェクト」に取り組みました。健康福祉部保健予防課とともに政策プレゼンにおいて、「健康寿命延伸プロジェクトⅡーぐんまエクステンションプラン」を提案し、高い評価を得ることができました。本事業に関連して、榛東村との健康づくりに関する包括協定を締結し、健診データの解析等の協働事業を開始いたしました。

以上のように、本学の地域連携センター事業は、年々活動を拡大し、着実に成果を積み重ねてきております。今後とも地域貢献活動の一層の推進に向けて地域社会との交流を図り、ともに発展することを目指して活動を進めて参ります。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年10月

地域連携センター長 齋藤 基

# 目 次

## I 地域連携センターの活動

---

1. 地域連携センター概要	2
1) 設置概要	2
2) 事業一覧	3
2. 事業報告	4
1) 看護学教員養成課程	4
2) 県立病院連携事業	6
3) 看護職研究支援事業	8
4) 放射線教育・研修事業	10
①放射線治療講習会	10
②学校における放射線教育支援事業	11
③診療放射線技師継続教育等事業	12
④群馬県診療放射線技師会講習支援事業	14
⑤診療放射線技師研究支援事業	16
5) 放射線測定協力事業	17
6) 教育普及事業	18
7) 地域連携推進事業	25
8) トピックス	36

## II その他の地域貢献活動

---

1. 学会活動	38
2. 一般住民・団体を対象とした講演・研修	46
3. 保健医療専門職を対象とした講演・研修	48
4. 行政組織での活動等	54
5. 任意団体での活動等	56
6. 他教育機関非常勤講師	59
7. 報道記事	62

## III 関連規程

---

・群馬県立県民健康科学大学地域連携センター設置運営規程	64
・群馬県立県民健康科学大学地域連携センター運営会議 及び地域連携センター運営委員会設置運営細則	66

# I 地域連携センターの活動

---

# I - 1. 群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター概要

## 1) 設置概要

本学はこれまで、看護師、保健師及び診療放射線技師の養成校として、臨床現場で活躍できる多くの保健医療専門職を育成することで、地域の医療水準及び県民の健康水準の向上に貢献してきました。そのような中、平成19年の学校教育法の改正等により、「社会貢献」が「教育」、「研究」に次ぐ大学の第3の役割に位置づけられたことを踏まえ、本学においても、これまで以上に地域貢献を推進するため、平成24年4月に大学附属機関として、地域連携センターを設置しました。

本学地域連携センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果等を、県民をはじめ、広く教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に対し還元することにより、県民の保健、医療及び福祉の向上に寄与することを目的として、地域貢献に関する各種事業に取り組みます。

## ■平成28年度地域連携センター運営会議構成員一覧

区 分		氏 名
委員長	地域連携センター長	横山 京子
副委員長	地域連携副センター長	松田 安弘
	地域連携副センター長	小倉 明夫
委 員	看護学部長	齋藤 基
	診療放射線学部長	柏倉 健一
	看護学教員養成課程	高橋 裕子
	県立病院連携事業（看護学部）	田村 文子
	県立病院連携事業（診療放射線学部）	上原 真澄
	看護職研究支援事業	中西 陽子
	放射線教育・研修事業 学校における放射線教育支援事業	林 則夫
	放射線教育・研修事業 放射線治療講習会事業	佐々木 浩二
	放射線教育・研修事業 診療放射線技師継続教育等事業	小倉 明夫
	放射線教育・研修事業 群馬県診療放射線技師会講習支援事業	五十嵐 博
	放射線教育・研修事業 診療放射線技師研究支援事業	小倉 敏裕
	放射線測定協力事業	倉石 政彦
	教育普及事業	青木 武生
	地域連携推進事業	肥後 すみ子
	健康福祉政策事業	巴山 玉蓮
	事務局	渡辺 隆男
	(県健康福祉部健康福祉課)	北爪 清
	(学外有識者：県看護協会)	小川 恵子
	(学外有識者：県診療放射線技師会)	町田 利彦
	(学外有識者：県医師会)	下城 茂雄
(学外有識者：県立心臓血管センター)	大島 茂	
(学外有識者：県立伊勢崎高等学校)	三好 功悦	

## 2) 事業一覧

事業名	事業概要
1 看護学教員養成課程 P4～5	看護師養成教育機関の看護学教員や臨床現場で教育的役割を担う教育担当者を対象とし、看護基礎教育に携わる教育者としての役割を遂行するために必要な知識・技術を教授する。大学主体で看護基礎教育に携わる教育者の教育実践能力の維持向上を図る。
2 県立病院連携事業 P6～7	県病院局、県立4病院（心臓血管センター、がんセンター、精神医療センター、小児医療センター）と県民健康科学大学で、4病院が抱える課題、たとえば人材育成等について、その解決に向けた連携事業を継続して、組織レベルで展開する。
3 看護職研究支援事業 P8～9	県内の病院、行政機関、健診機関、訪問看護ステーション、福祉施設、事業所等に所属する看護師、保健師、助産師を対象に、看護研究を実施する際に必要な研究の基礎的知識を習得するための看護研究セミナーと、研究テーマに沿って看護研究の一連の過程を本学教員が支援する看護研究個別支援を実施し、県内の看護職者の研究活動を支援することで、研究能力の向上と県民の健康の保持・増進に寄与する研究成果の産出を図る。
4 放射線教育・研修事業 P10～16	<p><b>(1) 放射線治療講習会</b> がんプロフェッショナル基盤養成プランの一つとして、筑波大学が中心に取りまとめている「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」事業に沿って、放射線治療教育プログラムのセミナーを開催する。これを通じて、治療技術の普及や向上とともに、がんの早期発見に繋がる検診への関心を高める。</p> <p><b>(2) 学校における放射線教育支援事業</b> 学習指導要領の改訂により平成23年度から放射線教育が学校教育に導入されたことに伴い、学校（生徒と教員）及び保護者を対象とした放射線教育講座を実施し、放射線教育活動を支援する。</p> <p><b>(3) 診療放射線技師継続教育等事業</b> 県内診療放射線技師の撮像技術向上事業として、「MRI専門技術者」資格の取得を視野に入れた講習会等を開催するほか、MRIを用いた共同研究と研修会を実施する。これらにより、診療放射線技師が最新の知識・技術を習得できるようにし、がん等の疾病の早期発見の機会の増加を図る。</p> <p><b>(4) 群馬県診療放射線技師会講習支援事業</b> 診療放射線技師の業務拡大に伴い、群馬県診療放射線技師会で行われる注腸造影検査及び静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会へ講師の派遣を行い、地域の診療放射線技師の技術向上に貢献する。</p> <p><b>(5) 診療放射線技師研究支援事業</b> 診療放射線技師の各施設での研究を支援する研究会を開催し、研究方法、論文作成法等について知的支援を行う。</p>
5 放射線測定協力事業 P17	放射線測定に関する助言・指導、測定値の解釈・評価、対策の立案・実施に関する助言等を通じて、県民に安全安心の提供を図る。
6 教育普及事業 P18～24	県民向けの公開講座、講演会及び公開授業等の事業を行い、地域貢献活動を積極的に行う。
7 地域連携推進事業 P25～35	<p>地域連携センター Newsletter 及び地域貢献活動報告書を発行し、本センターの活動を広く県民に周知するとともに、ボランティア活動の活性化を図る。また、共愛学園前橋国際大学COC+「C3PG」の協力校として活動する。</p> <p>健康福祉政策事業では、群馬県健康福祉部との情報交換会継続と、マッチングした事業の展開を図る。さらに、文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラムとして群馬大学が実施する「群馬一丸で育てる地域完結型看護リーダー事業」への協力など、地域に根ざした取組を行う。</p>

## I - 2. 事業報告

# 看護学教員養成課程

担当者／看護学部 ◎高橋（裕）講師、松田教授、岩波准教授、河内講師

### 事業目的・内容

県内及び県外の看護師養成教育機関の看護学教員や臨床現場で教育的役割を担う教育担当者を対象とし、看護基礎教育に携わる教育者としての役割を遂行するために必要な知識及び技術を教授します。

本課程は、大学主体で看護基礎教育に携わる教育者の教育実践能力の維持向上に関わる事業として取り組んでいます。また、看護学教員が継続的に学び続けられるような体制づくりに努めます。

### 実施結果

- 平成 29 年度看護学教員養成課程学生募集（募集定員 20 名）  
本学ホームページ、上毛新聞及び群馬県広報に課程生募集の案内掲載  
看護学教員養成課程の紹介リーフレットを作成し、関東甲信越・東北地方の 3 年課程看護師養成教育機関への課程生募集の案内送付  
入学者選抜試験：平成 29 年 1 月 24 日（火）  
→ 出願者：24 名 入学予定者：19 名
- カリキュラム、授業計画に沿った授業の実施
  - ①実施授業科目 20 科目（基礎分野 5 科目、専門科目 15 科目）
  - ②総カリキュラム時間数：1770 時間（自己研修を含む）
  - ③教育実習  
看護学教育授業展開論Ⅱ（講義）・看護学教育授業展開論Ⅳ（実習）  
実施期間：平成 28 年 10 月 5 日（水）～ 12 月 2 日（金）  
本学、及び県内看護師養成教育機関において実施
- 公開授業  
看護学教育授業展開論Ⅱ（講義）  
日程：平成 28 年 7 月 22 日（金）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ限  
→ 学外参加者 41 名 学内参加者 7 名  
看護学教育授業展開論Ⅲ（演習）  
日程：平成 29 年 2 月 14 日（火）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ限  
→ 学外参加者 47 名 学内参加者 6 名
- 平成 28 年度看護学教員養成課程修了式  
日程：平成 29 年 3 月 23 日（木）修了生：19 名  
→ 修了後は看護師養成教育機関の教員として勤務
- 厚生労働省「教育訓練給付金制度（一般教育訓練）」指定講座認定  
→ 該当者 4 名
- 厚生労働省への報告書作成、及び次年度の申請



公開授業（演習）



公開授業（講義）

## 事業成果・効果

学生は、大学という恵まれた環境の中で看護学教育に関する豊かな知識や経験を持つ教員から授業を受けることができました。

修了生は本課程独自のカリキュラムに基づき、12ヶ月間学習活動を積み重ねることにより、看護学教員として、また病院の教育担当者として自信をもって活躍しています。修了生及び県内看護専門学校教員への公開授業の開催は、看護学教員が継続してスキルアップをするための機会となりました。

これらを通し、群馬県の看護基礎教育の質向上にも貢献できたと考えます。

また、今年度は、本課程のカリキュラムとその展開について、「看護人材育成」（日総研）の特別企画として掲載されました。本課程の教育内容やその効果を多くの方に認知してもらうことにより、今後の入学希望者の増加につながると考えます。

## 事業の課題及び改善の方向性

カリキュラム内容、進度、シラバス等について検討しながら、課程生がより効果的な学習活動ができるよう支援することにより、看護学教員養成課程事業の推進を図ります。専用教室の27 演習室の狭さ、演習室の確保など、学習環境を調整することが課題です。

また、看護学教員の継続教育の機会提供を継続し、県内の看護学教育の充実、発展につなげていきます。

## I - 2. 事業報告

# 県立病院連携事業

担当者／看護学部 ◎田村教授、山下教授、廣瀬准教授、清水准教授、大川講師、富永講師、木村講師、浅見講師、佐藤助教  
診療放射線学部 ◎上原教授、高橋准教授、渡部准教授

## 事業目的・内容

これまでの県立4病院と県民健康科学大学の連携事業の成果を明らかにします。その結果をもとに、連携事業の内容を整理し、次年度の連携事業の活動に生かします。

## 実施結果

県立病院連携事業の実施

### 看護部門

#### 1. 4病院共通

4病院連携事業打合せ会議を開催し、平成26年度の連携事業報告会以降の看護部活動報告及び今後の取組について共有しました。

日 時：平成28年6月13日（月）

場 所：本学第1学習室

内 容：連携事業活動報告、マネジメントリーダーの活用と評価  
看護管理コースのシステムの構築

出席者：看護学部：田村教授、山下教授

県立病院：4病院看護部長

病院局総務課：看護人材支援専門官

#### 2. 精神医療センター

本年度も、昨年に引き続き、精神医療センター（以下、センター）看護師が大学授業の聴講、センター看護師が精神科看護師としての体験談を発表、龍野准教授のセンターの看護師への倫理研修会の実施と単発の連携事業を進めました。

##### ①センター看護師の大学授業の聴講

日 時：平成28年6月15日（水）・22日（水）、29日（水）（9:00～12:10）

場 所：本学第22講義室

内 容：本学看護学部3年生の生涯発達看護学各論Ⅲ（看護過程演習）

センター看護師：南、森下、荒井氏

##### ②センター看護師の体験談の発表

日 時：平成28年7月28日（木）（13:00～14:30）

場 所：本学第21講義室

内 容：看護学部2年生「人間の発達と健康」各論Ⅲ（思春期・青年期）

ゲストスピーカー：打木洋行 看護師（本学卒業生：卒後5年目）

～精神科看護師として学んだこと～

##### ③倫理研修会

日 時：平成28年11月26日（土）（9:00～12:00）

場 所：センター

講 師：看護学部 龍野准教授

テーマ：精神科看護の事例を通した倫理的な課題の検討

参加者：看護師40名

### 3. 小児医療センター

「先輩看護職全員による新人看護職教育への参加」

新人看護職と先輩看護職への研修に関する情報交換、打合せ及び学習機会の場の提供を行いました。

#### 【実施状況】

平成 28 年 5 月 27 日 (日) 「プリセプターフォローアップ研修①」

(参加者：プリセプター 5 名、指導者 5 名、教育担当師長 1 名)

7 月 7 日 (木) 「多重課題研修」 打合せ

9 月 5 日 (月) 「多重課題研修」 (参加者 看護職 15 名)

9 月 12 日 (月) 「プリセプターフォローアップ研修②」

(参加者：プリセプター 5 名、指導者 5 名、教育担当師長 1 名)

平成 29 年 2 月 27 日 (月) 「プリセプターフォローアップ研修③」

(参加者：プリセプター 5 名、指導者 5 名、教育担当師長 1 名)

3 月 13 日 (月) 「プリセプター研修」

(参加者：次年度プリセプター予定者 15 名、指導者 5 名、教育担当師長 1 名)

### 診療放射線部門

※診療放射線部門においては、テーマ毎に、ニーズ調査、大学教員とのマッチング及び来年度の実施に向けた打合せ会議等を適宜実施しました。

#### 1. 「備品の長期貸出」 < 4 病院共通 >

心臓血管センターへ X 線 CT 検査 (CT コロノグラフィー検査) の最適化のため、大腸ファントムを貸し出しました。今後このデータを利用して、研究発表を行う予定です。

がんセンターへ放射線治療における画像収集装置間での被ばく線量評価を行う目的で、蛍光ガラス線量計を貸し出しました。今後このデータを利用して院内研究活動に生かしていく予定です。

## 事業成果・効果

看護部門においては、精神医療センターの看護職に対する倫理研修、及び小児医療センターの先輩看護職全員による新人看護職教育への参加を通じた研修会を平成 27 年度と同様に実施しました。それぞれの研修会は、臨床の看護職の意識や意欲改革に貢献できたと考えられます。

診療放射線部門においては、研究に必要な物品を貸し出すことができ、研究の効率化及び質の向上に貢献できた。これらの看護・診療放射線部門の活動を通じて、県立病院の医療サービスの向上に寄与することができたと考えられます。

## 事業の課題及び改善の方向性

前年度に引き続き、県立病院が抱える課題の解決や大学の研究機能・技術の活用を一層充実させるために、理論 (研究) と現場 (実践) という観点から、大学からその解決支援という形で、県立病院と本学が連携して取組を発展させる必要があります。看護部門では、病院のニーズを焦点化するとともに、大学の教育的な役割を模索していきます。今後も、新人看護職と新人看護職を支える先輩看護職への研修に資する情報や学習機会の提供及びコンサルテーションを行っていきます。

診療放射線部門では平成 28 年度に実施した事業に引き続き取り組みます。特に、研究支援事業に重点を置いた取組を行いたいと考えています。事業効果を最大限に得るために県立病院と密に連絡を取り合いながら事業を進めていく必要があります。

## I - 2. 事業報告

# 看護職研究支援事業

担当者／看護学部 ◎中西教授、狩野教授、飯田准教授、松嶋准教授、高橋（さ）講師、鈴木講師、橋本講師、福島講師

### 事業目的・内容

群馬県内の病院、行政機関、健診機関、訪問看護ステーション、福祉施設、事業所等に所属する看護師、保健師、助産師を対象とし、研究活動を支援することを目的に、下記の事業を行います。

#### 1. 看護研究セミナー

看護研究を実施する際に必要な研究の基礎的知識を習得するための講義・演習をします。

#### 2. 看護研究個別支援

看護研究の一連の流れを、支援教員の個別指導のもとに学習・体験します。

### 実施結果

#### 1. 看護研究セミナーの実施

- ・第1回講義「看護研究計画書の作成」（岩波准教授）
- ・第2回講義・演習「看護研究のための文献検索と文献検討」（狩野教授）
- ・第3回講義「看護研究における倫理と手続き」（飯田准教授）

#### 2. 看護研究個別支援の実施

- ・11の研究課題に対して、支援担当教員を各1名または2名配置し、10ヶ月間の研究個別支援を行いました。

#### 3. 看護研究個別支援（継続）の実施

- ・平成27年度に個別支援を行った9グループのうち、継続支援の希望があった6グループに対して、各支援担当教員が継続して研究個別支援を行いました。

#### 4. 研究成果報告会の開催

- ・平成26年度及び平成27年度の個別支援・継続支援を受けた対象者及びグループの中から3つのグループの研究成果や活動プロセスについて報告会を実施しました。



研究成果報告会

### 事業成果・効果

1. 看護研究セミナーは、平成28年4月23日（土）及び5月14日（土）に開催しました。各セミナーの定員40名に対し、1回目50名、2回目50名、3回目52名の応募がありました。参加率は、1・2回目は106%、3回目は100%であり、本事業への受講者の期待が感じられました。受講後のアンケート結果から、各セミナーへの満足度が高く、セミナーの内容に関しても充実した内容であったとの評価がうかがえました。県内看護職者の看護研究への関心及び研究スキルの基礎的能力向上につながりました。

2. 看護研究個別支援は、看護研究セミナーの全てを受講した者の中で、研究課題を持ち、個別支援を希望する個人及び小グループを再度募集し、申請のあった11グループに対して行いました。内訳は、県内病院（県立1病院、その他10病院）から申請があった11グループでした。支援教員の個別指導のもと、各施設に就業する看護職者が各々の施設での看護実践の中で抱える問題に着目した研究課題を明確にし、10ヶ月間にわたり研究活動を進めました。1グループあたり複数回の支援教員の指導を行い、その成果をまとめています。成果の公表として、院内研究発表

会での発表、次年度の県内学会、国内学会への成果発表を予定しています。これらの成果が、看護の質の向上に直結し、県民の保健、医療及び福祉の充実の一端を担うことに貢献します。

3. また、昨年度の個別支援グループの中から、希望するグループに対する継続個別支援を実施しました。昨年度の個別支援の9グループのうち、6グループが継続個別支援の申請を行い、研究のまとめや院内発表、学会発表に向けて、研究活動を継続しました。今年度は、継続支援グループのうち1グループが学会で優秀発表賞を受賞するという成果が報告されました。
4. 昨年度に引き続き、研究成果報告会を開催しました。平成27年度の個別支援・継続支援を受けた対象者及びグループの中から3つのグループ（県内病院2グループ、その他病院1グループ）の研究成果と活動プロセスについての報告会を実施しました。看護研究セミナーの受講者35名が参加し、過去の受講者の研究成果及び研究活動のプロセスを実際に見聞することにより、研究個別支援につなげる動機づけとなりました。

## 事業の課題及び改善の方向性

本事業は、受講者が主体的に研究活動に取り組むことを前提に研究支援を行っていますが、研究の進捗や取組にグループ差が大きい状況にあります。今後、受講者の主体的取組の促進について検討する必要があります。

また、今年度も昨年度に引き続き、個別支援を受けた対象者及びグループの中から、研究活動のプロセスとその成果を発表する場を設けました。過去の受講者の成果発表が次の個別支援受講者の主体的取組への動機づけにつながるため、今後も継続して行う予定です。

さらに、今年度は継続支援グループから学会発表において優秀賞を受賞するなど、着実に成果が出ています。今後とも本事業を通して、県内看護職者の研究活動の促進を支援していきたいと思っております。

# 放射線教育・研修事業（①放射線治療講習会）

担当者／診療放射線学部 ◎佐々木教授、小倉（敏）教授、小倉（明）教授、五十嵐准教授、大野准教授、長島准教授、林准教授、谷口助手

## 事業目的・内容

がんプロフェッショナル基盤養成プランの一つとして、筑波大学が中心に取りまとめている「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」事業に沿って、放射線治療教育プログラムのセミナーを開催します。これを通じて、治療技術の普及や向上とともに、がんの早期発見に繋がる検診への関心を高めます。

## 実施結果

「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」事業への参画

### 1. 第1回「国際協力型 先端医療医学物理学 指導者コース講演会」

開催日：平成28年12月3日（土）

開催場所：本学多目的ホール

参加者：県内外の診療放射線技師、医学物理士、機器開発者（62名）

内容：これからのMU検証を考える－IMRT, VMATの検証は？－

放射線治療における新しいMU計算の考え方を種々の視点から学びました。内容が最新で知識の再構築に役に立ったと好評でした。

### 第2回「国際協力型 先端医療医学物理学 指導者コース講習会」

開催日：平成29年2月4日（土）

開催場所：群馬大学医学部附属病院

参加者：県内外の診療放射線技師、医学物理士、機器開発者（30名）

内容：線量計の相互校正を極める

－電子線フィールド線量計の相互校正を自施設で！－

放射線計測機器の取扱と計測技術について実習形式で学びました。

### 2. 実践型粒子線治療人材養成コース：群馬大学との連携授業として「重粒子治療技術学演習」を後期から開講し、受講者は2名でした。

## 事業成果・効果

群馬県内のみならず広域で放射線治療に携わる診療放射線技師、医学物理士及び開発者が、講演会における知識の吸収とディスカッションを通して、普遍的な放射線治療技術に基づいた最新の技術を知る機会を提供しました。本年度のセミナーでは、臨床業務に就いている診療放射線技師及び医学物理士向けに、最新の放射線治療に関わるトピックスから、臨床応用、品質管理に関するテーマまで幅広い知識の共有ができました。また、新たに講習（実習）形式でも開催しました。参加者が各臨床現場において応用でき、問題発見、解決能力の向上に資する内容でした。放射線治療技術の向上は、群馬県で治療を受ける患者の利益につながる活動となります。

## 事業の課題及び改善の方向性

放射線治療に携わる医療従事者の育成については、県がん対策推進条例においても明記されており、専門的な医療従事者の質的向上を図る必要があります。今後も、「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」事業への参画や、本学独自のセミナーの開催等を通じ、放射線技術系の基礎教育や継続教育に取り組んでいきます。

# 放射線教育・研修事業(②学校における放射線教育支援事業)

担当者/診療放射線学部 ◎林准教授、小倉(明)教授、小倉(敏)教授、佐々木教授、大野准教授、長島准教授、五十嵐准教授、谷口助手

## 事業目的・内容

放射線やその影響を正しく理解していただくために、学校(教諭・生徒・保護者)・事業所(病院・企業)・一般住民等を対象とした講義・講演を実施し、放射線教育を支援します。

## 実施結果

平成 28 年度は学校から放射線教育の依頼が無かったため当該事業を実施していません。

## 事業の課題及び改善の方向性

学校における放射線教育のニーズの減少に伴い、次年度より事業内容を“診療放射線技師CT・MRI研究会事業”に変更して、県内の診療放射線技師の研究支援事業として、国内及び国際学会発表を視野に入れた研究発表の講習会等を実施する事業へ変更する予定です。

## I - 2. 事業報告

# 放射線教育・研修事業 (③診療放射線技師継続教育等事業)

担当者／診療放射線学部 ◎小倉 (明) 教授、小倉 (敏) 教授、佐々木教授、大野准教授、長島准教授、五十嵐准教授、林准教授、谷口助手

### 事業目的・内容

県内外の診療放射線技師の撮像技術向上事業として、「MRI 専門技術者」資格の取得を視野に入れた講習会等を開催するほか、MRI を用いた共同研究と研修会を実施します。これらにより、診療放射線技師が最新の知識・技術を習得できるようにし、がん等の疾病の早期発見の機会の増加を図ります。

### 実施結果

#### 1. 本学MRI 装置を用いたMRI 講習会の開催

実施日：平成 28 年 10 月 29 日 (土)・30 日 (日)

開催場所：本学MRI 室及び多目的ホール

参加者数：診療放射線技師 20 名

講習内容：MRI 専門技術者取得に関する講義及び演習



MRI 講習会

#### 2. 群馬MRI 研究会への支援

実施日：平成 28 年 5 月 18 日 (水)

：平成 28 年 6 月 15 日 (水)

：平成 28 年 7 月 15 日 (金)

：平成 28 年 9 月 21 日 (水)

：平成 28 年 10 月 19 日 (水)

：平成 28 年 11 月 16 日 (水)

：平成 29 年 2 月 15 日 (水)

：平成 29 年 3 月 13 日 (月)

開催場所：本学多目的ホール

支援内容：開催場所の提供と講師の派遣

#### 3. CT・MRI に関する他施設との共同研究の実施

①施設名：城西クリニック，群馬大学

研究内容：Variation among scanners in signal intensity of in/out-of-phase images using dual echo sequences.

研究報告：第 44 回日本磁気共鳴医学会大会で口述発表

②施設名：城西クリニック，群馬大学

研究内容：Double inversion recovery (DIR) image for the brain: deriving the most relevant sequence using signal intensity measurements.

研究報告：11th Symposium of the Scandinavian Japanese Radiological Society& 14th Nordic Japan PACS Symposium で口述発表

## 事業成果・効果

「MR I 専門技術者」資格を取得するには、受験資格として一定以上の研究業績と、自施設のMR I 装置を用いた性能評価試験の実施報告、並びに認定試験の合格の必要があります。本講習会にて、研究の方法論、性能評価方法の実施、試験対策講義が行えたことは、資格取得に向けて有効であるばかりでなく、臨床MR I 検査に関する基礎的、医学的知識の習得になり、県民の健康に還元されるものと思われます。また、県内外との診療放射線技師の交流・情報交換の機会となり、医療安全等に関する情報など、さらなる医療サービスへの向上に繋がるものと考えます。

## 事業の課題及び改善の方向性

がん等の疾病の早期発見の機会の増加には、画像診断の質の向上が重要で、診療放射線技師の知識や技術の向上を図る必要があります。今後も、MR I 実機を用いて、「MR I 専門技術者」資格の取得を視野に入れた講習会を開催し、県内外の診療放射線技師の継続教育に取り組むとともに、教育・研究機関としてMR I 導入をした優位な環境を生かし、共同研究等も進めます。

## I - 2. 事業報告

# 放射線教育・研修事業 (④群馬県診療放射線技師会講習支援事業)

担当者/診療放射線学部 ◎五十嵐准教授、小倉(敏)教授、小倉(明)教授、佐々木教授、大野准教授、長島准教授、林准教授、谷口助手

## 事業目的・内容

診療放射線技師の業務拡大に伴い、群馬県診療放射線技師会で行われる注腸造影検査及び静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会（業務拡大に伴う統一講習会）へ講師の派遣を行い、地域の診療放射線技師の技術向上に貢献します。また、関連の講習事業についても開催支援を行い、診療放射線技師のさらなる知識・技術の向上に貢献します。

## 実施結果

### 1. 業務拡大に伴う統一講習会

- ① 講習会名：業務拡大に伴う統一講習会（北関東地域）  
開催日：平成 28 年 6 月 18 日（土）～6 月 19 日（日）  
開催場所：本学多目的ホールほか  
講師名：川上裕氏（渋川医療センター）、  
武田久氏（伊勢崎市民病院）、上原真澄教授（本学）、  
五十嵐博准教授（本学）

参加人数：57 名

- ② 講習会名：業務拡大に伴う統一講習会（北関東地域）  
開催日：平成 28 年 10 月 22 日（土）～10 月 23 日（日）  
開催場所：本学多目的ホールほか  
講師名：川上裕氏（渋川医療センター）、武田久氏（伊勢崎市民病院）、上原真澄教授（本学）、  
五十嵐博准教授（本学）

参加人数：33 名

- ③ 講習会名：業務拡大に伴う統一講習会（北関東地域）  
開催日：平成 29 年 2 月 18 日（土）～2 月 19 日（日）  
開催場所：本学多目的ホールほか  
講師名：川上裕氏（渋川医療センター）、武田久氏（伊勢崎市民病院）、上原真澄教授（本学）、  
五十嵐准教授（本学）

参加人数：24 名



業務拡大に伴う統一講習会（6月）

### 2. 平成 28 年度 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習会

- ① 第 1 回 平成 28 年 10 月 11 日（火） 19:00～21:00
  - (1) 演題名：『マンモグラフィ ソフトコピー診断施設の画像の管理について』  
講師：東芝メディカルシステムズ株式会社  
X線営業部アプリケーション担当 奈良部奈保子氏
  - (2) 演題名：『乳がん検診の現状と、マンモグラフィの最新情報』  
『撮影技術の標準化について』  
講師：NPO 法人 日本乳がん検診精度管理中央機構  
教育研修委員会マンモグラフィ部門 技術委員 新井敏子氏

参加人数：50 名

- ② 第2回 平成 28 年 11 月 8 日 (火) 19:00～21:00  
演 題 名：『胸部 X P の読影入門・ABC (総集編)』  
～前回の復習と、一次読影に必要な臨床学的知識を学ぼう～  
講 師：医療法人社団 高仁会 城西クリニック 院長 松本満臣 氏  
参加人数：65 名
- ③ 第3回 平成 28 年 12 月 13 日 (火) 19:00～21:00  
演 題 名：『胃がん検診発見症例の解説：放射線技師の立場から Ver. 4』  
① 撮影技術のポイント指南 ② 読影技術演習  
講 師：一般社団法人 群馬県診療放射線技師会 萩原常夫 氏  
参加人数：51 名  
会 場：本学多目的ホール  
本学からの支援体制 (会場運営・受付等)：五十嵐博准教授

3. 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー

- 開 催 日：平成 28 年 4 月 24 日 (日)  
開催場所：本学多目的ホール  
講 師 名：星野修平 氏 (群馬パース大学)、町田利彦 氏 (群馬県診療放射線技師会)、上原真澄教授 (本学)、  
五十嵐博准教授 (本学)  
参加人数：10 名

4. 群馬県診療放射線技師会第 1 回マンモグラフィポジショニング研修会

- 開 催 日：平成 29 年 3 月 19 日 (日)  
開催場所：本学多目的ホールほか  
講 師 名：新井敏子 氏 (ぐんまマンモグラフィ向上委員会)  
本学からの支援 (会場運営・受付等)：根岸徹准教授  
参加人数：15 名

## 事業成果・効果

診療放射線技師の業務拡大に伴い、新たに開始された講習について、複数の講師を派遣し、群馬県内外の技術レベルの向上に寄与することができました。また、がん検診エックス線撮影従事者講習会等の開催にも協力することで、県内のがん検診に従事する診療放射線技師のさらなる知識・技術の向上についても活動することができました。

## 事業の課題及び改善の方向性

業務拡大に伴う統一講習会については、平成 27 年度から新設され、2 年目を迎えた事業です。運営する群馬県診療放射線技師会のスタッフと実習指導をする本学スタッフがより密な連絡・調整をすることにより、現在以上にスムーズな開催ができると考えます。講習会場として本学を活用することによって、講義と実習の実施等も円滑に進められると考えます。

## I - 2. 事業報告

# 放射線教育・研修事業（⑤診療放射線技師研究支援事業）

担当者／診療放射線学部 ◎小倉（敏）教授、小倉（明）教授、佐々木教授、大野准教授、長島准教授、五十嵐准教授、林准教授、谷口助手

### 事業目的・内容

県内診療放射線技師の研究支援事業として、国内はもとより国際学会発表を視野に入れた研究発表の講習会等を実施します。これらにより、診療放射線技師が発展的な研究を行えるようにし、世界を視野に入れた学会発表ができるようになることが期待できます。また、県民の方に群馬県から国際学会へ発信される研究紹介を行います。

#### 【具体的な取組】

- ①本学で行っている研究の紹介
- ②国際学会の申請の方法
- ③スライド作成法の紹介

### 実施結果

1. 国際学会研究発表のための講習会を本学にて開催しました。  
日 時：平成 28 年 9 月 13 日（火） 19：00～21：00  
会 場：本学多目的ホール  
内 容：海外学会発表の申請の仕方、発表の実際  
講 師：佐藤 充 氏  
参加人数：総数 30 名
2. 第 12 回群馬産学官金連携推進会議にて、国際学会で発表している研究の紹介を行いました。  
日 時：平成 28 年 8 月 1 日（月） 16：00～18：00  
会 場：群馬県商工会議所  
内 容：「集中して見るだけで拡大する画面の開発」
3. 群馬県産業経済部次世代産業課主催のヘルスケア産業展にて、国際学会で発表している研究の紹介を行いました。  
日 時：平成 28 年 11 月 11 日（金） 10：00～16：30  
会 場：ビエント高崎 ビッグキューブ（高崎市問屋町 2-7）  
内 容：「簡易脳波計を使用した画像処理装置の開発」

### 事業成果・効果

本事業において、診療放射線技師が国際学会にて発表するノウハウをお知らせすることができ、また、県民の方々に国際学会で発表している最新の研究内容を紹介することができました。そして、群馬県民をはじめ、様々な地域に生活する人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に貢献できる保健医療専門職としての診療放射線技師の育成を目指していることをお知らせすることができました。

### 事業の課題及び改善の方向性

一般の方々を対象に本学で行っている国際的水準の研究をお知らせすることができました。また、県内の診療放射線技師の研究支援事業として、国際学会発表を視野に入れた研究発表の講習会等も実施することができました。今後、県内の診療放射線技師の研究支援として、多くの方が世界を視野に入れた学会発表ができるよう、講師を迎えて講習会を開く予定です。

# 放射線測定協力事業

担当者／診療放射線学部 ◎倉石准教授、杉野准教授

## 事業目的・内容

放射線測定に関する助言・指導、測定値の解釈・評価、対策の立案・実施に関する助言等を通じて、県民に安全安心の提供を図ります。このため、以下の事業を行います。

- ①放射線測定に関する助言・指導の依頼に対応
  - ②測定器の簡易校正の依頼に対応
  - ③測定値の解釈・評価の依頼に対応
  - ④放射線・放射能に関する講習会への講師の派遣
  - ⑤除染対策、低レベル汚染土壌等の処理に関する助言
  - ⑥生活環境の放射線量率測定の実施及び依頼への協力と情報提供
- <②を除き、行政組織、民間団体の別を問わない。②は民間のみ対応>

## 実施結果

### ①測定器の簡易校正

市民団体（安中市）の依頼により測定器3台の簡易校正を行い、併せて測定方法について指導しました。後日、測定結果について解釈・評価への助言を行いました。

### ②県内学校における空間線量測定

測定対象とする学校を中学校に絞り、地図上で均等配置になるように53校を選定し、測定方法について検討を進めました。

## 事業成果・効果

放射線量率や食品等の放射能濃度については、行政による継続的な測定に加え、県民の個人・団体による測定が続けられています。原発事故から6年が経過し、群馬県内ではかなり低水準の線量率となっています。測定器の特性として、低レベルの放射線量率では補正のための定数が大きく変動するため、校正とともに測定方法や測定値の解釈・評価には、注意が必要です。このことについて、十分に理解していただけるよう解説することにより、正しい測定について理解していただきました。

県内の学校について、全校調査は時間的にも困難なため、地域的な偏りが無いように53校を選定しました。測定方法は、原発事故直後の測定値と比較するため同様の方法で行うことを確認しました。

## 事業の課題及び改善の方向性

東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に、環境放射線に関する県民の不安解消の一助となるよう活動を計画してきました。今後とも、放射線計測にかかる様々な疑問にお応えし、県民の放射能・放射線に関する不安や心配の解消・軽減のための活動を続けてまいります。

# 教育普及事業

担当者／看護学部 石川教授、森川准教授、鵜生川准教授、佐々木助教、生方助手  
診療放射線学部 ◎青木教授、原教授、米持助教

## 事業目的・内容

県民を対象とした公開講座や講演会などの事業を行い、地域の方々に本学の教育と研究の成果を還元します。

## 実施結果

### 1. 公開講座の開催（本学主催の県民を対象とした講座）

#### ①第1回（平成28年8月20日（土））

テーマ：「食べもの情報」ウソ・ホントー「健康食品」で健康が買えますか？ー

講師：群馬大学名誉教授（食品の広告問題研究会）高橋久仁子氏

参加人数：107名

#### 【受講者からの意見】

トクホなどと聞くだけで身体に良さそうと思っていたが、ほとんど影響の無いことに驚きました。「楽しく痩せる」や「きれいになる」はないんだと心に刻んでおこうと思います。商品に書いてある文は鵜のみにしないようにしたいです。高橋先生の講座を継続してほしい。

#### ②第2回（平成28年9月17日（土））

テーマ：体に痛みのあるときの生活の工夫

講師：看護学部 高井ゆかり 教授

参加人数：84名

#### 【受講者からの意見】

とても分かりやすく、体操も今後やってみたいと思います。ケガの予防についてや、ケガをしたときの対応について知りたい。

#### ③第3回（平成28年12月17日（土））

テーマ：うっかりミスはなぜ起きる

講師：診療放射線学部 五十嵐博 准教授

参加人数：188名

#### 【受講者からの意見】

とても勉強になりました。聞きやすくて分かりやすかったです。職場で「ハッ」と思ったら先生のことを思い出してミスを予防していきます。分かりやすくて寝られなかったです。



## 第3回公開講座「うっかりミスはなぜ起きる」

診療放射線学部 准教授 五十嵐 博

私たちには、日常生活や様々な活動において「ミス」というものがつきまといまいます。注意していたつもりでも、ミスが起こったりします。ミスの種類は、錯覚や勘違い、誤判断などで起こる「ミスティク」、やり損なう、押し間違ふという人間が動作をすることで起こる「スリップ」、覚えていたはずにもかかわらずうまく思い出せずに起こす「ラプス」の3つに分類されます。この講演では、皆様に実際にこれらの「ミス」を体験していただきました。そして、どのようなメカニズムで発生したのかを解説しました。後半では、ミスの発生を抑える防止対策のヒントになるお話をしました。

私たち人間は、五感の中でも「視覚」を当てにして判断や行動する際の情報として活用していると言われていいます。実際に、視覚がどの程度優れた感覚器なのか否かを「ミスティク」を例に皆様と検証してみました。さらに、普段無意識でやっているような慣れた動作の中で起こしてしまう「スリップ」についてはアクティベーション・トリガー・スキーマという概念を用いて、具体例をお示ししながらお話しいたしました。やり忘れる、失念するといった記憶にまつわる「ラプス」については、普段皆様が目にしているものを例にして体験してみました。



「うっかりミス」という言葉を用いましたが、ミス防止対策は、分析・検討するだけでなく、エラーを起こしにくい土壌や文化を組織・地域の中に根づかせることが重要です。このような活動が、

ひとつの組織、ひとつの業界で行われるのではなく、社会全体として行われていくことが、より安全で安心な社会につながると考えます。

この公開講座は、出前なんでも講座（群馬県事業）として、県内の方々に無料で講演をしているものと同内容でした。是非、出前なんでも講座「うっかりミスはなぜ起きる」も活用していただければ幸いです。

## I - 2. 事業報告

### 2. 出前なんでも講座（群馬県事業）

実施件数：142 件

派遣教職員：159 名

参加者：8,114 名（申請者申告）

※ベスト 10 に 6 講座ランクイン



### 出前講座：テーマ「はたらく人のストレスーからだの声を聴くー」

看護学部 講師 垣上正裕

**概要：**本講座は、地域で生活を営む働き盛りの人々を対象にしています。これらの人々が、自分のストレスの正体を知ったり、ストレスを受けていることに気づく方法を知ったりすることを通じて、自分に合った対処方法を見つけただくことを目的としています。

主な講演内容は、以下の4点です。

- ・意思決定の範囲とストレスややりがいとの関係について
- ・心身症（からだの声）について
- ・ストレス対処に活用可能な首尾一貫感覚（SOC）について
- ・円滑な人間関係に向けたプロセスレコードの活用法について

**実施状況：**平成 28 年度は、県内全域にて 12 件実施しました。

講座を依頼してくださった方達は 455 名で、一般市民の方に加え、民間企業、自治体、医療福祉専門職に就いている方など、さまざまな背景をもつ人達でした。年齢層も、20 歳代から 70 歳代と多岐にわたりました。

#### 参加してくださった方の声（主要講演内容に沿って一部抜粋）

- ・ストレスは出来事の深刻さよりも本人の解釈によるところが大きいことがわかった
- ・ストレスがからだの症状としてあらわれることを知った
- ・困難を回避することも対処のひとつなのだとわかった
- ・物事の悪い面ばかりに目が向いていたことがわかった
- ・他者に話すことで自分の状況がわかることを知った



## 実績一覧

※テーマ五十音順

No.	テーマ	担当講師	開催日	曜日	主催者	人数
1			5月17日	火	伊勢崎市あずま公民館	35
2			6月 1日	水	群馬県長寿社会づくり財団	20
3			6月 9日	木	高崎市消費者団体連絡協議会	50
4	「美味しく食べる」を支える健口体操を学ぼう	講師 樋口友紀 講師 福島昌子	6月14日	火	敷塚地域包括支援センター	20
5			7月13日	水	前橋市大胡公民館	40
6			3月10日	金	本石原福寿友交会	26
7			3月14日	火	高崎市塚沢公民館	15
8	CT・MRI 検査	准教授 長島宏幸	12月 6日	火	群馬県立渋川高等学校	23
9		准教授 渡部晴之	1月 8日	日	高花台 1 丁目自治会	80
10	あなたの腎臓、大丈夫？ ー慢性腎臓病から腎臓を守るコツー	講師 高橋さつき	6月30日	木	安中市健康づくり課	30
11			8月28日	日	三共ネクスト株式会社	15
12			9月 2日	金	桐生市立中央公民館	200

No.	テーマ	担当講師	開催日	曜日	主催者	人数
13	医療におけるヒューマンエラーと防止策	准教授 五十嵐博	11月 2日	水	サンノーバ株式会社	20
14			1月18日	水	群馬県勤務薬剤師会	50
15			3月 2日	木	桐生厚生総合病院	250
16			6月 9日	木	渋川栄養士会	25
17			6月22日	水	特別養護老人ホームみのりの丘	40
18			7月 5日	火	林野庁群馬森林管理署	38
19			7月11日	月	館林市郷谷公民館	40
20			7月19日	火	群馬県埋蔵文化財調査事業団	80
21			7月28日	木	安中地区人権教育推進委員会	30
22			8月19日	金	JA 甘楽富岡管理職組合	55
23			9月 6日	火	高崎市塚沢公民館	40
24			9月 9日	金	建設業労働災害防止協会群馬県支部 藤岡分会	300
25			9月13日	火	大泉町教育委員会	80
26	9月13日	火	大泉町教育委員会	80		
27	9月14日	水	大泉町教育委員会	80		
28	9月14日	水	大泉町教育委員会	80		
29	9月21日	水	建設業労働災害防止協会群馬県支部 桐生分会	350		
30	9月28日	水	群馬県行政書士会渋川支部	50		
31	10月 5日	水	群馬県公立高等学校事務職員会	130		
32	10月 5日	水	サンノーバ株式会社	20		
33	10月18日	火	館林市民の会	38		
34	うっかりミスはなぜ起きる	准教授 五十嵐博	11月 2日	水	群馬県老人福祉施設協議会事務研究 部会	80
35			11月 5日	土	群馬県勤労者福祉協議会	70
36			11月 9日	水	カウンセリング研究会 2000	15
37			11月17日	木	渋川市社会福祉協議会ヘルパース テーション	76
38			11月25日	金	前橋市大胡公民館	40
39			12月 4日	日	富岡市立西中学校	430
40			12月 8日	木	群馬県中小企業団体事務局長会	20
41			12月 9日	金	株式会社 田村組	50
42			1月11日	水	エムティーエス株式会社	25
43			1月29日	日	市場町二丁目友愛クラブ	35
44			2月14日	火	北原区ふれあいいきいきサロン	40
45			2月21日	火	デイサービスセンターにじいろ太田	20
46			2月26日	日	百々親友会	40
47	3月 3日	金	清里市民サービスセンター	15		
48	3月 6日	月	伊勢崎市あずま公民館	30		
49	3月 8日	水	特別養護老人ホーム思いやり	14		
50	3月11日	土	群馬県中小企業団体中央会	30		
51	3月12日	日	渋川市社会福祉城議会	85		
52	3月14日	火	藤岡市社会福祉協議会	50		
53	3月16日	木	特別養護老人ホーム思いやり	11		
54	3月22日	水	宮城地区牛乳共販委員会	50		
55	3月30日	木	栗原レントゲン株式会社	15		
56	お酒と健康被害	准教授 龍野浩寿	1月26日	木	県立盲学校	19

## I - 2. 事業報告

No.	テーマ	担当講師	開催日	曜日	主催者	人数
57	家庭で活かす看護技術 「血圧の値が教えてくれること」	助教 佐藤正樹	6月23日	木	デイサービスセンターにじいろ太田	10
58			6月30日	木	群馬県長寿社会づくり財団	20
59			7月26日	火	太田市尾島地域包括支援センター	20
60			11月10日	木	高崎市総合福祉センターシルバーセンター	50
61			2月9日	木	伊勢崎市あずま公民館	30
62	家庭で活かす看護技術 「床ずれを予防するための工夫」	教授 山下暢子	4月27日	水	デイサービスセンターにじいろ太田	10
63			5月25日	水	特別養護老人ホーム八瀬川の里	20
64	家庭で活かす看護技術 「マッサージによるリラックスする技術」	准教授 保坂さえ子	5月13日	金	新世紀塾「ときめき」	13
65			9月16日	金	館林市郷谷公民館	40
66			9月26日	月	高崎市箕郷公民館	41
67			11月13日	日	岩神地区地域づくり協議会	50
68			1月17日	火	高崎市佐野公民館	20
69	体に痛みのあるときの生活の工夫	教授 高井ゆかり	6月30日	木	館林市大島公民館	50
70			8月18日	木	あいので訪問介護サービス	15
71			8月26日	金	小規模多機能ホームくわのみ安中	30
72			12月13日	火	宮城地区酪農組合	50
73			12月15日	木	箕輪城長寿センター	25
74			12月16日	金	昭和村保健福祉課	20
75			2月13日	月	安中市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会	100
76			3月2日	木	甘楽町社会福祉協議会	100
77	3月21日	火	安中市九十九地区生涯学習センター	20		
78	高齢者に多い入浴の事故	教授 肥後すみ子	11月24日	木	太田市葦川行政センター	100
79			11月24日	木	太田市宝泉行政センター	100
80			1月25日	水	高崎市総合福祉センターシルバーセンター	30
81	こころの健康づくり	教授 田村文子	7月16日	土	群馬県看護協会前橋地区支部	150
82			9月23日	金	藤岡労働基準協会	50
83			9月28日	水	群馬くみあい運輸株式会社	70
84			10月5日	水	利根郡小中学校教育研究会事務部会	17
85			10月12日	水	カウンセリング研究会 2000	15
86			11月8日	火	群馬県卸売市場連合会	100
87	子どもの物事の理解のしかた	教授 横山京子 講師 益子直紀 講師 富永明子	9月30日	金	伊勢崎市ファミリーサポートセンター	14
88	歯周病…あなたは大丈夫？全身疾患との関係と 口腔ケアのポイント	講師 高橋さつき	4月26日	火	みなかみ町子育て健康課	45
89			6月9日	木	ひさご電材(株)群馬工場	63
90			9月6日	火	みどり市笠懸公民館	150
91			9月27日	火	富士通(株)館林システムセンター	30
92			3月10日	金	群馬県農業団体健康保険組合	60
93	睡眠環境を調える	講師 田淵祥恵	6月8日	水	館林市分福公民館	30
94			7月7日	木	高崎市立八幡中学校	400
95			9月13日	火	建設業労働災害防止協会群馬県支部 富岡分会	230
96			11月2日	水	高崎市南公民館	24
97			11月9日	水	安中市ゆうあい館	70
98			11月21日	月	前橋地方・家庭裁判所	30
99			12月7日	水	群馬県高等学校保健体育研究会	100
100			12月13日	火	渋川市小中学校 PTA 連絡協議会(母親委員会)	27

No.	テーマ	担当講師	開催日	曜日	主催者	人数
101	生活習慣病の予防と対応策	講師 浅見優子	9月14日	水	殖蓮地区青少年育成団体連絡協議会	50
102		准教授 廣瀬規代美	10月 8日	土	群馬県東部教育事務所	26
103		教授 中西陽子	2月14日	火	みなみまえばし倶楽部	15
104		講師 浅見優子	3月 3日	金	玉村町障害者福祉センターのばら	14
105		准教授 廣瀬規代美	3月17日	金	館林市地域包括支援センター	50
106	生物の世界：顕微鏡でどんなものが見える	教授 青木武生	6月24日	金	桐生市立中央公民館	200
107			8月 2日	火	伊勢崎市立赤堀小学校	80
108			8月 5日	金	未広学童クラブ	40
109	タッピングタッチ「いつでもどこでもだれでもできるシンプルなケア」	講師 中野あずさ	11月24日	木	あいので訪問看護サービス	10
110			1月11日	水	カウンセリング研究会 2000	15
111			3月24日	金	NPO 法人 HOME	20
112	転倒予防にむけた身体づくり1「フットケアを学ぼう」	講師 樋口友紀 講師 福島昌子	2月 8日	水	辻自治会	40
113	転倒予防に向けた身体づくり2「転倒予防体操を学ぼう」	講師 樋口友紀 講師 福島昌子	5月23日	月	藤岡地区農業指導センター	35
114			6月15日	水	群馬県立心臓血管センターボランティア ハートクラブ	32
115			9月13日	火	板倉町健康介護課	30
116			9月13日	火	北原区ふれあい・いきいきサロン	40
117		講師 樋口友紀 助手 竹淵由恵	9月15日	木	高崎市総合福祉センターシルバーセンター	50
118		講師 樋口友紀	9月16日	金	渋川市北橋公民館	30
119		講師 福島昌子	3月7日	火	高崎市塚沢公民館	17
120	夏休み・自由研究の進め方	准教授 倉石政彦	6月26日	日	渋川市子ども会育成会連絡協議会	308
121			7月 3日	日	館林市六郷公民館	30
122			7月12日	火	前橋市立芳賀小学校	74
123			7月13日	水	高崎市立城南小学校	50
124			7月20日	水	前橋市清里公民館	40
125			7月25日	月	高崎市新町公民館	18
126			7月27日	水	前橋市芳賀公民館	20
127			8月 1日	月	コープぐんま高崎ブロック	24
128			8月 7日	日	館林市三野谷公民館	40
129	妊娠期から生後3か月までの子育て	教授 行田智子 助手 生方尚絵	11月16日	水	玉村町ファミリーサポートセンター	15
130	バイオエシックス（生命倫理）について	准教授 森川功	9月27日	火	群馬県衛生環境研究所	25
131	はたらく人のストレスーからだの声を聴くー	講師 垣上正裕	5月16日	月	安中公民館	19
132			5月24日	火	沼田市社会福祉協議会	81
133			9月 7日	水	サンノーバ株式会社	20
134			9月14日	水	南牧村役場職員親睦会	30
135			11月 9日	水	吾妻郡小中学校事務研究会	23
136			11月16日	水	事務職員組合高崎支部	20
137			11月17日	木	社会福祉法人潤青会	40
138			12月 5日	月	社会福祉法人赤城会障害者支援施設しきしま	20
139			12月15日	木	県公立高等学校事務長会太田・邑楽館林支部	16
140			12月16日	金	連合群馬親交会	18
141			1月26日	木	玉村町社会福祉協議会	35
142			2月 1日	水	甘楽富岡公立小中学校事務研究会	25

## I - 2. 事業報告

### 3. 公開授業（県民を対象とした本学学部授業の公開）

- ①「群馬県民の文化と生活」  
受講者数 15名、延べ人数 140名
- ②「健康と環境」概論  
受講者数 11名、延べ人数 97名
- ③「人間の発達と健康」概論 <通年科目>  
受講者数 9名、延べ人数 145名

### 事業成果・効果

県立大学として求められる水準にふさわしい公開講座が計画され、地域住民に向けて周知を図りました。その意味では、群大名誉教授 高橋先生の講座と本学五十嵐准教授の講座は非常に参加者も多く、的を射た企画と思われます。公開講座終了後に収集した参加者へのアンケート調査結果によると、参加者は高い満足度を得ることができています。また、出前なんでも講座の講師派遣についても、要請に沿って教員に仲介する組織的な支援がなされました。これらの事業を通し、県民に本学の教育活動や教員が実施する研究を理解していただき、これによって県立大学としての存在意義を再確認していただくとともに、公開講座の内容に関する知識の習得を通して、豊かな生活を送っていただくことを切に望んでいます。

### 事業の課題及び改善の方向性

大学機能として地域貢献活動を盛り込んだ改正学校教育法の趣旨に鑑み、保健医療専門職だけでなく、地域住民をはじめ多くの県民に、大学の知的財産を還元することが要請されています。本学では、これまでどおり、公開講座や講演会に加えて、要請の多い出前なんでも講座等にも新たなメニューを加えながら活動を行い、地域貢献活動を積極的に実施するとともに、この事業を県民のみなさまに今以上にご活用いただけるよう、要望のあった様々なテーマで公開講座を企画するなど、より広範な広報活動に力を入れる必要があります。

# 地域連携推進事業

担当者／看護学部 ◎肥後教授、行田教授、保坂准教授、土井講師、中野講師、益子講師、  
塩ノ谷講師、坪井講師、田淵講師、樋口講師、服部講師、大澤（康）助手、  
竹淵助手、高橋（美）助手  
診療放射線学部 堀准教授、西村助手

## 事業目的・内容

地域連携センターの活動を広く県民に知っていただくため、3つの事業を実施します。

1. 地域連携センター Newsletter の発行  
大学のトピック、地域活動報告、県民の皆さんに役立つ健康アドバイス、学内行事のお知らせなどを取り上げます。
2. 前年度に実施した地域貢献活動の報告書の作成・製本化  
本学の教員や学生がどのような地域貢献活動を行っているのかわかりやすい内容にまとめます。
3. 学生ボランティア活動の活性化  
学生ボランティア活動がどのような現状にあるのか実態を把握し、学生ボランティアの活性化に向けた資料にします。

## 実施結果

1. 地域連携センター Newsletter の発行
  - ・ Vol.4 / No.1 6月発行 特集：大学法人化に向けて
  - ・ Vol.4 / No.2 10月発行 特集：県民と学生との交流をもとに展開される授業の紹介
  - ・ Vol.4 / No.3 1月発行 特集：県民健康科学大学との協働
  - ・ Vol.4 / No.4 3月発行 特集：放射線照射（杉野先生）
2. 地域貢献活動報告書の作成・製本化
  - ・ 平成27年度の報告書を発行し、大学ホームページにも掲載しました。
  - ・ これまでのモノクロからカラーへ、文章の簡潔化及び写真を挿入することで、より読みやすく、興味を誘う内容になりました。
3. 学生ボランティア活動の活性化
  - ①意識啓発
    - ・ 6月に学生のボランティア活動に関する意識調査を manaba システムで実施。  
回答者（39名）の約9割が活動に意欲的であることが分かりました。
    - ・ 学生への啓発として11月に「学生ボランティア講演会」を実施。  
講師は本学看護学部4年生、NPO 法人アクション1名。受講者14名。
  - ②受け入れ体制の充実
    - ・ ボランティアに関する窓口の明確化
  - ③積極的な活動の支援
    - ・ manaba システムによる募集情報の配信開始。
    - ・ 学生のボランティア活動：延べ15日161名  
(看護学部149名、診療放射線学部12名)



学生ボランティア講演会



ボランティアサークル活動風景  
(県立小児医療センタークリスマス会)

## I - 2. 事業報告

### 事業成果・効果

地域連携センター Newsletter 及び地域貢献活動報告書を発行することで、本センターの活動を広く県民に理解していただけたと思います。

学生ボランティア活動に対する学生の関心を知り、また、ボランティアを通して学生自身が成長を自覚していることに喜びを感じました。学生ボランティア活動を充実させることは、学生自身の成長とともにボランティアを必要としている方々の支援につながると思います。

### 事業の課題及び改善の方向性

本事業の主要な3つの活動は、群馬県民の皆様がいかにわかりやすく、タイムリーに伝えるかということが重要です。また、学生ボランティア活動は、より多くの学生がボランティアに関心を持てるような情報提供の工夫が求められています。



## 健康福祉政策事業（医務課、保健予防課との連携）

担当者／看護学部 ◎巴山教授、大澤准教授、垣上講師、橋爪講師  
診療放射線学部 下瀬川教授、根岸准教授

### 事業目的・内容

1. 群馬県が、看護師養成所の専任教員の確保と定着及び資質向上に向けて実施してきた研修をより系統的で、効果的な研修にするため、教員を対象とした継続教育プログラムの開発・評価を行います。
2. 市町村の認知症サポーター養成の取組を支援するために、ステップアップ講座カリキュラムと教材の開発を行います。
3. 健康福祉統計データの分析・活用に係る調査研究を行います。
4. 群馬県保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定を行い、職員が最適な条件で業務が行えるよう調査・報告を行います。

### 実施結果

1. 群馬県看護教員継続教育プログラム開発プロジェクトは、「全教員」、「経験5年以内の教員」、「経験6年以上の教員」、「管理的役割を担う教員」、「2年課程看護専門学校に所属する教員」を対象に、研修計画書を作成しました。目的を達成したので、事業を終了しました。
2. 認知症サポーターステップアップ講座教材開発事業については、平成29年1月に本学への予算が配分され、7教材全てが完成し、平成29年度から配布を行う予定です。
3. 健康福祉統計データの分析・活用に係る調査研究は、データを有効に活用できる分析方法等を検討中です。
4. 平成28年2月8日（月）：医療被ばく線量測定に関する説明
  - ① 保健所におけるX線装置の精度管理方法の説明：測定器を持ち回りで使用し、基準条件での線量を調査することを説明しました。
  - ② 診断参考レベルの説明：平成27年6月に提案された日本の医療被ばく標準値の概念と撮影部位ごとの線量説明を行いました。
  - ③ 診断参考レベルと各施設の撮影線量の比較方法：本学で作成した診断参考レベル簡易計算シートを用いて入射表面線量を測定する手法を提案しました。
  - ④ 測定方法解説：X線装置を用いて測定方法の解説を行いました。
5. 平成29年2月1日（水）：各保健所における線量測定結果に関する説明

### 事業成果・効果

1. 教員を対象とした継続教育プログラムが開発され、系統的な研修が実施されれば県内の看護教育のレベルの向上が期待できます。
2. 不必要な医療被ばくを防止することが期待されます。

### 事業の課題及び改善の方向性

1. 事業の予算は、本学共同研究費を申請することにより確保します。
2. 期間を決めて測定器を貸し出し、測定結果を比較検討し、調査報告書を作成することを通して、結果を周知していきます。



## ごあいさつ

### 大学法人化移行に向けて

本学は、平成17年の開学以来、県内医療機関等において活躍する人材を育成するとともに、常に教育研究の質を高め、その成果を広く群馬県内に提供してきました。また、本年4月からは、大学院博士後期課程を開設し、保健医療の現場や教育部門において、高度な専門知識と技術を兼ね備えた指導者として活躍できる人材の養成にも取り組むなど、地域に密着した県立大学としての役割を着実に果たしてきたところです。その一方で、18歳人口が減少し始める、いわゆる「2018年問題」や人口減少社会の到来など、大学を取り巻く環境は大きく変化しています。本学が、さらに魅力を高めて大学間競争に生き残っていくためには、他の大学と同じ「土俵」で競い合える制度の導入が不可欠となっています。

こうしたことから、昨年11月の群馬県議会におきまして、大澤知事から、平成30年4月に本学と県立女子大学を公立大学法人による運営に移行する旨の方針が示されました。大学の法人化は、非常に激しい社会の変化に対処するために、迅速かつ柔軟な意思決定とその遂行を可能とする一つの機会となります。法人化を契機として、本学の価値をより一層高め、これまで以上に県民が期待する役割を果たせる大学となるよう、高田学長のもと、教職員一体となってしっかりと準備を進めていきたいと考えております。今後も皆様方のご支援をお願いいたします。

事務局長 渡辺 隆男



法人化担当 村田 滋張



### 「県立大学法人化推進」のための体制整備をしています

平成28年4月1日付けで法人化担当として配属となりました。法人化を進めるに当たっては、運営や組織、人事・給与、財務会計など様々な検討事項がありますが、就業規則の作成や労働時間制度の導入検討など、労務管理も重要なポイントの一つとなってきます。微力ではありますが、社会保険等に関する専門知識を活かしながら、法人化担当としてしっかりと準備を進めていきたいと思っています。皆様方のご支援をお願いいたします。

### 大学のトピック

### 総勢151名の学生生活が スタートしました

去る4月6日(水)、本学大講義室において平成28年度入学式が、本学設置者である大澤知事をはじめとする、多数の来賓の方々のご臨席のもと、挙行されました。

本年度は、大学院博士後期課程の開設に伴い、第1期生となる4名とともに、大学院博士前期課程9名、看護学部82名、診療放射線学部36名、看護学教員養成課程20名の総勢151名を迎えました。



式辞を述べる高田学長

## 特集 大学院博士後期課程

### 大学院博士後期課程の設置を迎えて

診療放射線学研究科長 柏倉健一

本学は、平成28年4月1日に大学院博士後期課程を設置しました。この結果、学部、大学院博士前期課程、博士後期課程と一連の教育課程を備える教育研究機関となりました。平成17年の大学開学以来、10年余りを経て、医療専門職の養成と共に、教育者、研究者の育成が可能となり、大学として「成人」を迎えたこととなります。

ご支援・ご協力をいただいた大澤知事、議員の皆様をはじめ、多くの教育・保健医療機関の先生方、地域の方々に教職員一同深く感謝を申し上げます。

授業については、まだまだ手探りの状態が続いております。1期生の学生たちとともに一つ一つ実績を積み重ね、大学の歴史を作っていきたいと決意を新たにしております。



## 地域貢献活動 紹介・報告

### 県立病院連携事業(看護部門)

#### 看護学部 教授 田村文子

看護部門の連携事業は、県立4病院と本学で病院が抱える課題の解決と大学の研究機能・技術の活用を充実させ、理論(研究)と現場の看護実践の向上を図ることを目指しています。

本年度は、①完成した4病院共通の看護管理者マネジメントラダーの活用と評価、②副師長を対象とする「看護管理コース」のシステム構築の計画立案を行う予定です。また、個別事業では、小児医療センターの「プリセプター研修」及び精神医療センターの「倫理研修」などを継続して実施予定です。



### 看護職研究支援事業

#### 看護研究個別支援成果報告会が開催されました

本事業は、大学が所有する知的財産や研究成果等を活用し、県内の看護職者の研究能力の向上と県民の健康の保持・増進に寄与する研究成果の産出を目指しています。

去る5月14日(土)に、平成27年度看護研究個別支援を受講された県内の看護職者の皆さまから、その成果を報告いただきました。



報告会の様子

## お知らせ

### オープンキャンパスを開催します！

オープンキャンパスでは、本学のカリキュラムや入試に関する案内に加え、在校生や教員による相談コーナーを設ける予定です。また、本学の雰囲気を知っていただけるよう模擬授業や模擬演習も企画しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

【日 時】平成28年8月10日(水)・11日(木)

【場 所】県民健康科学大学

※詳細については、本学ホームページ等でお知らせいたします。



昨年度の様子

発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1  
TEL:027-235-1211 FAX:027-235-2501 URL:<http://www.gchs.ac.jp/>



## 県民と学生との交流をもとに展開される授業

本学には、県民の皆様のご協力を頂いて行っている授業があります。  
今回は、その一部を取り上げ、授業の目的や参加者の感想・展望などをご紹介します。

### 4年次前期:看護専門職の役割と機能(総合実習)

「いきいき!元気!下沖!健康教室」

大澤真奈美 准教授

この授業は、地域の人々の健康問題を把握し、その解決に向けて看護の役割と機能を学習することを目的としています。

下沖町公民館の高齢者サロンで自治会のご協力を得て健康教室を開催しました。自転車で町を探索し、地域の皆様からお話を聞かせていただき、日頃の暮らしぶりや健康への関心・悩みなどについて理解を深めました。地域の皆様が健康に過ごせることを願って、「熱中症の予防」と「膝や肩の痛みの予防・対処で転倒予防」をテーマに教室を実施しました。参加頂いた皆様から、「有意義な内容でした」「生活に活かしたい」など嬉しい感想をいただき、充実した実習でした。



### 1年次後期:「人間の発達と健康」各論(導入実習)

中西陽子 教授

この授業は、母胎に命を宿してから老年期に至るまでの、人間の正常な発達を理解することを目的としています。

看護学部学生は、大学周辺や近隣地域にある病院の産科外来や検診部門、保育園・こども園や学校、福祉施設等に出向き、妊婦さん、子ども達、大人や老人の方々と直接触れ合いながら、人間の発達についての学習を深めています。



老人福祉センターでの陶芸教室の一コマ

### 2年次前期:看護技術学各論I(アセスメント技術)

SP(模擬患者)を導入した問診演習

肥後すみ子 教授



この授業は、SPさんを対象に問診によるコミュニケーションスキルの向上を目指しています。

#### 【SP活動を通して学ぶ事】

群馬SP研究会代表 吉江福子 氏

「群馬SP研究会」は、県内の医学部、薬学部での演習や、病院の危機管理講習、がん検診啓発等で活動しています。今回初めて看護学部から依頼をいただきました。

演習では4つのシナリオでSPを演じました。学生さんの真剣に取り組む姿や患者さんに寄り添う姿勢から、他学部との違いを肌で感じ、もっと看護学教育に貢献したいと思いました。また、私たちのSP活動が看護学生さんのお役に立てるということ学びました。

### 1年次前期:診療放射線学概論

「診療放射線技師の紹介」

上原真澄 教授

この授業は、卒業生のフレッシュな経験を聞くことで、診療放射線技師になるための「学ぶ意義」を理解することが目的です。



#### 【診療放射線学概論の講義を終えて】

国立がん研究センター東病院 放射線部

柳澤かおり 氏

授業では、診療放射線技師として病院で経験したことを伝えるとともに、大学生活のアドバイスをしました。大学時代は参考書とにらめっこの日々でしたが、臨床現場ではその通りにいきません。より高度な知識や技術が求められる中で、役割は多岐にわたります。この講義が、様々なニーズにどう対応するか考えるきっかけになればと思います。学生の多くを吸収しようとする姿勢に私も良い刺激を受けています。

## オープンキャンパスを開催しました



全体説明会

8月10日・11日の2日間で参加者数は、1600人にのぼり、過去最多でした。両学部とも実務的な模擬演習が充実し、多くの参加者に興味・関心をもって楽しく体験していただくことができ、盛況でした。



看護学部



診療放射線学部

## Voice 第1回公開講座 8月20日

### 「食べもの情報」ウソ・ホントー「健康食品」で健康が買えますか？

講師：群馬大学名誉教授（食品の広告問題研究会） 高橋 久仁子 氏

最近、耳にする「保健機能性食品」「特定機能食品」、これらの用語の定義や効果などについてお話がありました。「健康食品」と聞けば手に入りたいもの。手にするときは、キャッチコピーではなく、栄養表示を読むべきとのことでした。

#### ◆◆ 参加者の声 ◆◆

- ・ 健康食品について知識が向上しました。宣伝に惑わされないようにしたいです。
- ・ 健康にとって大切なことは、「運動」「休養(寝ること)」「栄養」であること。
- ・ 人間は本来雑食性の動物で、昼行性であることが基本であることを初めて理解できました。



## 第2回公開講座 9月17日

### 体に痛みのあるときの生活の工夫

講師：本学 看護学部 教授 高井 ゆかり

痛みがあるときは、体の痛みだけでなく、精神的にも憂鬱になってしまいます。そんな時、生活の工夫が痛みを楽にしてくれるかもしれません。

#### ◆◆ 参加者の声 ◆◆

- ・ 医師が発想する「痛み」への対処とは、少し違った切り口からの見方が新鮮で、大変参考になりました。
- ・ 座骨神経痛がひどく、足裏のしびれがあり精神的に疲れます。今回の講座を参考にして、考え方により痛みが和らぐよう実行してみようと思いました。



## お知らせ

### 桃の木祭(学園祭)を開催します！

【日 程】平成28年11月5日(土)・6日(日)  
※詳細は、本学ホームページ等でお知らせいたします。

【開催場所】群馬県立県民健康科学大学

### 学生ボランティア講演会

【日 時】平成28年11月28日(月) 16:20～17:50

【第1部】学生としてボランティアをすること

【第2部】人生を動かした学生時代のボランティア

【参加費】無料

【申込方法】本学ホームページからお申し込みください。また、電話、FAXでもお申し込みいただけます。

【開催場所】群馬県立県民健康科学大学多目的ホール

学生発表：本学 看護学部学生 武井千草 さん

NPO法人アクション：講師 畝尾知佳 氏

### 第3回公開講座 うっかりミスはなぜ起きる

【日 時】平成28年12月17日(土)14:00～16:00

【講 師】本学 診療放射線学部 准教授 五十嵐博

【受講料】無料

【申込方法】本学ホームページからお申し込みください。また、はがき、電話、FAXでもお申し込みいただけます。

【開催場所】群馬県立県民健康科学大学

【対象】県民の皆様(どなたでもご参加いただけます。)

発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1  
TEL:027-235-1211 FAX:027-235-2501 URL:http://www.gchs.ac.jp/



## ごあいさつ

### 【県民健康科学大学との協働】

群馬県健康福祉部長 塚越日出夫



県民健康科学大学地域連携センターは、大学の第3の機能である“地域貢献”を進めるため、大学と地域を結ぶ窓口となり、大学が有する教育・研究の成果を、県民や保健医療専門職、行政などに広く還元してきました。

健康福祉行政が抱える諸課題に対し、大学の教育・研究成果や大学が持つノウハウを活かした取組を進めることにより行政効果を一層高めることを目的に、昨年度から、両者の協働を進めるための意見交換の場を設置しています。その結果、群馬県看護教員継続教育プログラムの開発等について連携が進んでいるところであります。

現在、我が国では持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革が進められており、県民の健康の維持増進、生活の質の向上はもとより、医療費の適正化や社会保障給付費の抑制にも繋がる「健康寿命の延伸」は、県政の重要課題となっています。健康づくり対策の展開に当たっては、科学的根拠に基づいた取組が重要であります。保健医療のビッグデータを活用した課題分析や分析結果に応じた実践プログラムの開発・実践、データに基づく評価を通じた対策を進めて行く上で、県民健康科学大学との協働が不可欠と考えております。

2018年問題\*など大学を取り巻く環境が厳しさを増す中、県民健康科学大学は、平成30年度から公立大学法人に移行します。このような中、地域から信頼され、魅力ある大学となるには、教育・研究のさらなる充実とともに、「地域貢献」、「行政との協働」が大きなポイントになると考えております。より一層の取組を期待申し上げます。

\*18歳の人口が2018年頃から減り始め、大学進学者が減少し続ける問題

## 活動報告

### 【健康福祉政策事業】

看護学部教授 巴山玉蓮

本事業は平成27年度に設置された新しい事業分野であり、群馬県の保健医療施策について行政機関と大学が意見交換を行い、連携を通して県民の健康福祉に寄与することを目指しています。初めに取り組んだ事業は、「群馬県看護教員継続教育プログラムの開発」と「群馬県保健所等におけるX線発生装置の精度管理」であり、医務課及び保健予防課と連携しています。

平成28年度は、新たに介護高齢課と連携し、「認知症サポーター養成に係る教材開発」を目指し鋭意活動しており、本学と県行政各部署との連携を一層進めた年となりました。



健康福祉政策事業担当教員

## 県行政との協力・連携事業

### 【群馬県看護教員継続教育プログラム開発プロジェクト】

看護師等養成所の教員の多くが、自己研鑽に熱心に取り組んでいます。教員の努力が、学生への教育はもちろん、将来の質の高い看護につながると思えるからです。しかし、研修受講の機会は少なく、主催するにも企画が難しい現状がありました。そこで群馬県と本学は、可能な限り効率的、効果的な研修を提供することをめざし、このプロジェクトを発足しました。

看護師等養成所の先生方にも参加いただき、調査結果を様々な角度から検討して立案できたプログラムは、教員の要望の高い内容を中心に、経験や役職に応じた12種類の研修から成り立っています。これを基にすれば、主催者は計画的に研修を企画でき、受講者は効率よく系統だった学習ができる、という仕組みです。報告書にまとめましたので、すぐにも活用いただけます。今後、このプログラムが教育の質向上に貢献することを願ってやみません。

看護学部准教授 岩波浩美



プロジェクト担当教員と院生の湯澤さん

## 学生による地域貢献活動

### 【学生ボランティア活動講演会】

11月28日に本学において学生ボランティア活動講演会が行われました。

学生としてボランティアをすること 看護学部4年 武井千草

大学に入るまでボランティアを一度もしたことがなかった私がボランティアをしてみても感じた、ボランティアの魅力。それは、たくさんの出会いがあること、してあげるのではなく一緒にするという、勇気づけられ考えさせられること、たくさんの経験ができること。なにかしなくちゃではなく、なにかしてみよう！から新しい自分が見つかる。ボランティアは素敵なものです。



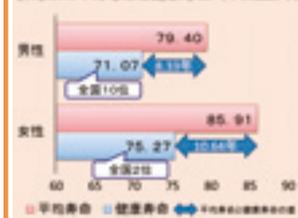
### 健科大ぐんまちゃんの健康アドバイス



群馬県では**健康寿命**(健康に問題なく日常生活を過ごせる期間)の延伸県民運動「**ぐんま元気(GENKI)の5か条**」を制定しています。5か条を実践し、いつまでも元気に暮らしましょう！

- 第1条 G げんき(元気)に動いて ぐっすり睡眠
- 第2条 E えんぶん(塩分)ひかえて 食事はバランスよく
- 第3条 N なかま(仲間)をつくって 健康づくり
- 第4条 K きんえん(禁煙)めざして お酒は適度に
- 第5条 I いいは(歯)を保って いつも笑顔

群馬県の平均寿命と健康寿命(平成22年)



出典：群馬県健康増進計画「元気県ぐんま21(第2次)」第3章掲載データ

## Kenkadai A to Z

### ■EMBLEM：大学の校章



本学の校章は、群馬県の頭文字Gを基本に、平和の象徴である鳩の横顔を想起させるとともに、中央のラインが県内を流れる清流を表現しています。

4つの頭文字は本学の英語表記 **GUNMA PREFECTURAL COLLEGE OF HEALTH SCIENCES**の略です。

## お知らせ

### 共同研究・若手研究発表会

看護学部および診療放射線学部の本学教員による研究成果の発表会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】平成29年3月16日(木)午後

【対象者】群馬県内で従事する保健医療関係職の方

※詳細は、本学ホームページでお知らせします。

発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1  
TEL:027-235-1211 FAX:027-235-2501 URL: <http://www.gchs.ac.jp/>



群馬県立県民健康科学大学

vol.4/No.4 2017.3.23

# 地域連携センター Newsletter

## 特集

### 【原発事故時の対応と現在の活動】

診療放射線学部 准教授 杉野 雅人

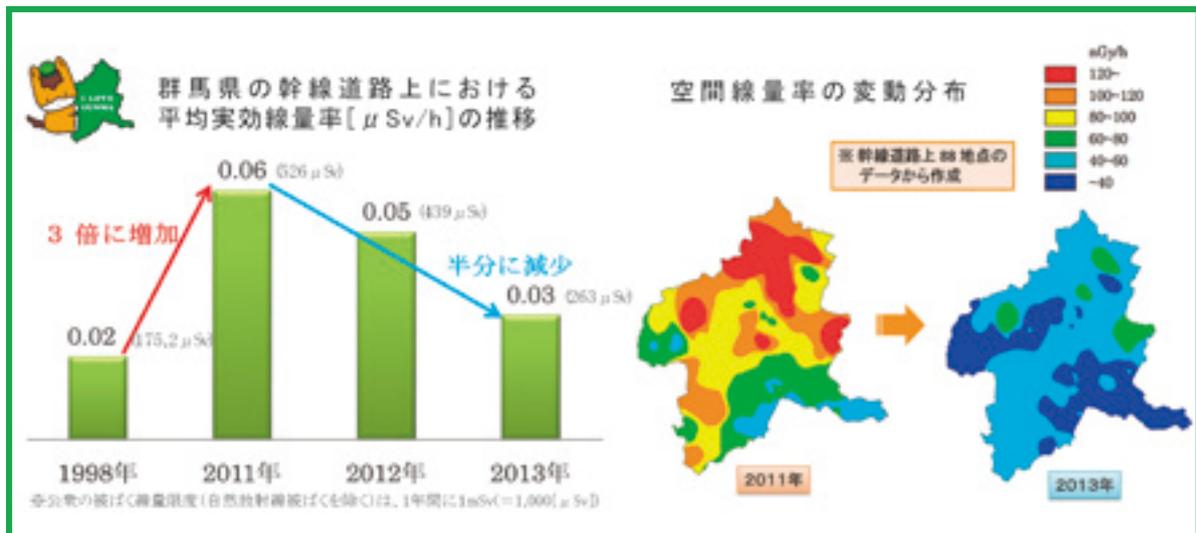
2011年3月11日、東北地方太平洋沖地震によって引き起こされた巨大津波は、福島第一原子力発電所(以下、原発)における水素爆発の誘因ともなりました。

原発から放出された放射性物質は、群馬県にまで到達し、住民を大きな混乱と恐怖に陥れました。当時、群馬県の汚染状況はどうか、被ばく線量はどれくらいなのか、など住民の疑問や質問、不安に応えるため、診療放射線学部の教員が協力し合って放射線に関する出前講座を行いました。また、自治体とも協力して市民公開講座や線量測定講習会なども開催しました。あれから6年経ちました。大多数の方々が、落ち着いた生活を取り戻されたかと思いますが、一方で空間線量率を気にされている方々もおられます。そういったニーズに応じて、現在でも前橋市、みどり市、川場村と連携して定期的



的に調査紙、結果とコメントを各自治体のホームページに公開しています。今後も群馬県民全ての方々が安心して暮らせるよう継続的に環境放射線調査を実施し、その成果を公表していきたいと思ひます。

- 空間線量: 空気中の放射線の量。単位には[Gy(グレイ)]が用いられる。1[μGy]=1,000[nGy]
- 実効線量: 放射線の人体への影響を総合的に評価して求められた量。単位には[Sv(シーベルト)]が用いられる。公衆の被ばく線量限度(自然放射線被ばくを除く)は、1年間に1mSv(=1,000[μSv])



## 活動報告

### 公開講座

**「うっかりミスはなぜ起きる」** 診療放射線学部 准教授 五十嵐 博  
平成28年12月17日(土)開催



県事業「出前なんでも講座」で昨年度人気No. 1になったことを受け、本学の公開講座で広く一般県民向けに実施しました。ミスの事例を通してヒューマンエラーの生じるメカニズムや、ミスの種類、さらにエラー対策についても話がありました。

188名の方々に受講いただき、終了後のアンケート調査では大多数の方より「非常に満足」「満足」という御回答をいただきました。

#### ●● 受講者の声 ●●

- ◇ ミスが生じるメカニズム、人間の特徴が分かりやすく説明されていました。大変興味深かったです。日頃の様々な活動に得た知識を生かしていきたいです。
- ◇ とても勉強になりました。聞きやすくて分かりやすかったです。職場で「ハッ」と思ったら先生のことを思い出してミスを予防していきます。

#### “転ばぬ”先の知恵袋： 転倒予防に向けた生活の工夫でいつまでも自分らしく健やかに！



1. 毎日の生活に日光を浴びての散歩やこまめに身体を動かす習慣をつけましょう！  
歩き方は、視線は前方、足先で地面を蹴ってかかとから着地がポイントです！
2. 万一反んでも骨折しにくい身体づくりのために、栄養バランスのとれた食事を心がけましょう！
3. ノドが渇く前にこまめな水分補給を意識しましょう！
4. 家の中での転倒事故が多いため、日頃から身近な生活の場の整理整頓に心がけましょう！

## お知らせ

◆「出前なんでも講座」には本学の教員の多くがメニュー登録しています。県の「健康寿命の延伸県民運動スタート宣言」を受けて、平成29年度からは、本学教員の提供するメニューの幾つかを「健康寿命延伸プログラム」として提供していく予定です。

#### ◆平成29年度「公開授業」のご案内

親しみやすい科目で、学生以外の方も受講できる授業です。学生と一緒に学んでみませんか？

前期は4月、後期は10月から開講し、受講料は無料です。1日限りの参加も可能です。

受講を希望される方は事前にお申し込みください。

講義名	開講日時
群馬県民の文化と生活	前期 水曜 13:00～14:30
「環境と健康」概論	前期 木曜 14:40～16:10
「人間の発達と健康」概論	前期 金曜 9:00～10:30
	後期 月曜 14:30～16:10

#### ◆「看護研究セミナー」の受講者を募集しています！

看護研究を実施する際に必要な研究の基礎的知識を習得するためのセミナーを開催します。

セミナー内容	開催日時
第1回 看護研究計画書の作成	4/22(土) 9:30～12:00 13:00～15:00
第2回 看護研究のための文献検索と文献検討	
第3回 看護研究における倫理と手続き	5/13(土) 10:00～12:00

【会場】 県民健康科学大学

【受講料】 無料

【対象】 群馬県内で従事する保健医療関係職の方

○看護研究セミナーに加えて、研究テーマに沿って看護研究の一連の過程を本学教員が支援する「看護研究個別支援」を実施します。詳細は本学ホームページにてお知らせいたします。

発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1  
TEL: 027-235-1211 FAX: 027-235-2501 URL: <http://www.gchs.ac.jp/>

## トピックス

### 健康寿命延伸プロジェクトがスタート

本学が持つ専門知識やノウハウを、県の健康寿命延伸施策に生かすため、県健康福祉部保健予防課と協働で平成 28 年度政策プレゼン\*にて「健康寿命延伸プロジェクトⅡーぐんまエクステンションプラン」を提案しました。

この提案を事業化し、本学では榛東村をモデル地区として選定し、平成 29 年 3 月に「健康づくり推進に関する包括協定」を締結しました。

\*群馬県職員が役職や所属にとらわれず、県政課題に対して新たなアイデアを盛り込んだ解決案を立案、発表する制度

#### 【連携協力事項】

- ・ 特定健康診査の結果等の健康に関する情報の分析や調査研究及び保健指導等に関すること。
- ・ 調査研究結果や最新の知見、健康情報等の定期的な情報交換に関すること。
- ・ 健康づくり対策事業に関すること。
- ・ 健康寿命の延伸県民運動「ぐんま元気（GENKI）の 5 か条」の推進に関すること。
- ・ その他、上記の目的達成のため必要な事項に関すること。



協定締結式の様子  
(真塩榛東村長（右）と高田学長（左）)

#### 【平成 29 年度の事業計画】

県健康福祉部保健予防課と協働し、主に以下の取組を実施します。

##### (1) 健康寿命延伸シンポジウム

「ぐんま元気（GENKI）の 5 か条」の普及に向けた、保健予防課との連携によるシンポジウムを開催します。

##### (2) 小規模町村支援事業

モデル地区として選定した榛東村の国保データ等の分析、保健指導の取組方策等の検討を本格的に開始します。

##### (3) ぐんま元気エクステンションセミナー

教育普及事業の一環として行っている「出前なんでも講座」（群馬県事業）登録時に「健康寿命延伸プログラム」と明示したものを「ぐんま元気エクステンションセミナー」として実施します。

## Ⅱ その他の地域貢献活動

---

## II - 1. 学会活動

### 学会活動 [看護学部]

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
1	横山京子	日本看護教育学会副理事	日本看護教育学会	平成28年度	—	—	—
2		日本看護科学学会代議員	日本看護科学学会	平成28年度	—	—	—
3		日本看護学教育学会評議員	日本看護学教育学会	平成28年度	—	—	—
4		日本看護教育学会第26回学術集会 企画委員、実行委員	日本看護教育学会	平成28年度	千葉	看護職者	289名
5		千葉看護学会誌査読者	千葉看護学会	平成28年度	—	—	—
6	行田智子	日本看護研究学会評議員	日本看護研究学会	平成28年度	—	—	—
7	中西陽子	日本慢性看護学会評議員	日本慢性看護学会	平成28年度	—	—	—
8		日本看護研究学会評議員	日本看護学研究学会	平成28年度	—	—	—
9		日本がん看護学会査読者	日本がん看護学会	平成28年2月20日、21日	千葉県幕張	大学教員、看護師	—
10	肥後すみ子	第7回看護生理学研究学会教育講演の開催、企画委員	看護生理学研究学会	平成28年8月28日	岡山	看護師、教員、大学院生	約110名
11		第15回学術集会 企画・運営委員、査読委員、交流セッション企画・運営・座長	日本看護技術学会	平成28年9月24日、25日	群馬(高崎)	看護師、教員、大学院生	約950名
12		第31回学術集会 企画・運営委員、査読委員	日本看護研究会中国・四国地方会	平成29年3月19日	岡山	看護師、教員、大学院生	約110名
13	山下暢子	日本看護教育学会第26回学術集会	日本看護教育学会	平成28年8月27日	千葉市	看護職者	289名
14		日本看護教育学会編集委員	日本看護教育学会	平成28年度	—	—	—
15		日本看護教育学会理事	日本看護教育学会	平成28年度	—	—	—
16		日本看護教育学会専任査読者	日本看護教育学会	平成28年度	—	—	—
17		日本看護教育学会評議員	日本看護教育学会	平成28年度	—	—	—

18	教授	狩野太郎	群馬県がん看護研究会 地域貢献活動担当理事	群馬県がん看護研究会	平成28年度	前橋市	看護師	—
19			日本がん看護学会 ガイドライン委員会委員	日本がん看護学会	平成28年度	—	看護師	—
20			日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	平成28年度	—	看護師	—
21			日本臨床腫瘍学会、日本がん看護学会、日本臨床腫瘍薬学会 合同ガイドライン委員会 委員	日本臨床腫瘍学会、日本がん看護学会、日本臨床腫瘍薬学会	平成28年度	—	—	—
22	教授	高井ゆかり	日本老年看護学会第21回学術集会 査読委員・座長	日本老年看護学会	平成28年度	埼玉	—	—
23			第36回日本看護科学学会学術集会 査読委員・座長	日本看護科学学会	平成28年度	東京	—	—
24			日本老年看護学会 編集委員会委員	日本老年看護学会	平成28年度	—	—	—
25			からだ・運動器の痛み専門医療者に関する審議委員会 委員	いたみ医学研究情報センター	平成28年度	—	—	—
26			日本運動器疼痛学会 暫定代議員	日本運動器疼痛学会	平成28年度	—	—	—
27			Reviewing 2 manuscripts in 2016	Journal of Clinical Nursing	平成28年度	—	—	—
28	准教授	大澤真奈美	日本地域看護学会 代議員	日本地域看護学会	平成28年度	—	—	—
29			日本地域看護学会誌 査読委員	日本地域看護学会	平成28年度	—	—	—
30			日本地域看護学会第18回学術集会・座長	日本地域看護学会	平成28年8月27日	自治医科大学(栃木)	看護職者等	—
31			日本公衆衛生看護学会誌 査読委員	一般財団法人 日本公衆衛生看護学会	平成28年度	—	—	—
32	准教授	飯田苗恵	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	平成28年度	—	—	—
33			日本プライマリ・ケア連合学会 倫理委員会委員	日本プライマリ・ケア連合学会	平成28年度	研究室(メール審査)	審査を申請した学会員	10件
34			日本難病看護学会 理事	日本難病看護学会	平成28年度	—	—	—
35			日本難病看護学会 第21回学術集会 企画委員・座長	日本難病看護学会	平成28年8月26~27日	北海道医療大学	学会員、当事者・家族	427名
36			日本難病看護学会「学会認定：難病看護師」認定講習会 ファシリテーター	日本難病看護学会	平成28年11月27日	東邦大学	看護職	66名

## II-1. 学会活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
37		学会企画セミナー:「箱根で学ぶ神経難病看護」シリーズ「人工呼吸ケアを再考する」運営委員	日本難病看護学会 独立行政法人国立病院機構箱根病院	平成29年2月18日	鈴鹿かまぼこの里 鈴の音ホール	看護職	32名
38	岩波浩美	日本看護教育学会第26回学術集会	日本看護教育学会	平成29年8月26、27日	千葉	看護職者	289名
39	廣瀬規代美	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	平成28年度	—	学会員	—
40		日本がん看護学会 代議員	日本がん看護学会	平成28年度	—	学会員	—
41		日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	平成28年度	東京	学会員	—
42	大川美千代	第15回学術集会実行委員	日本看護技術学会	平成28年9月25日	群馬(高崎)	看護師、教員、 大学院生	約950名
43	河内直美	日本看護教育学会第26回学術集会 実行委員	日本看護教育学会	平成28年8月27日	千葉	看護職者	269名
44		第20回群馬県看護学会 企画・運営	群馬県看護協会	平成28年11月16日	群馬	看護職者	745名
45	高橋裕子	日本看護教育学会 第26回学術集会 企画委員、実行委員	日本看護教育学会	平成28年8月27日	千葉	看護職者	約300名
46		日本看護教育学会 編集委員	日本看護教育学会	平成28年度	千葉大学	学会員	—
47	垣上正裕	日本看護教育学会第26回学術集会 企画委員、実行委員	日本看護教育学会	平成28年度	千葉	看護職者	289名
48	服部美香	日本看護教育学会第26回学術集会 企画局長	日本看護教育学会	平成28年8月27日	千葉	看護職者	289名
49		日本看護教育学会 理事	日本看護教育学会	平成28年度	—	—	—
50		日本看護教育学会 編集委員	日本看護教育学会	平成28年度	—	—	—
51	富永明子	日本看護教育学会第26回学術集会 企画委員、実行委員	日本看護教育学会	平成28年8月27日	千葉	看護職者	289名
52		日本看護教育学会第26回学術集会 座長	日本看護教育学会	平成28年8月27日	千葉	看護職者	289名
53	佐藤正樹	日本看護技術学会第15回学術集会 実行委員	日本看護技術学会	平成28年9月24、25日	群馬(高崎)	看護師、教員 大学院生	約950名
54	高橋美穂子	日本看護技術学会第15回学術集会 実行委員	日本看護技術学会	平成28年9月24、25日	群馬(高崎)	看護師、教員 大学院生	約950名

## [診療放射線学部]

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
1	教授 小倉敏裕	医用画像情報学会理事会	医用画像情報学会	平成28年度	大阪	大学教員、放射線技師	18名
2		医用画像情報学会 (MII) 平成27年度春季 (第174回) 大会運営	医用画像情報学会	平成28年2月6日	広島	大学教員、放射線技師	約100名
3		医用画像情報学会 (MII) 平成28年度年次 (第175回) 大会運営	医用画像情報学会	平成28年6月11日	大阪	大学教員、放射線技師	約150名
4		医用画像情報学会 (MII) 平成28年度秋季 (第176回) 大会運営	医用画像情報学会	平成28年10月1日	高松	大学教員、放射線技師	約100名
5		医用画像情報学会 (MII) 平成28年度春季 (第177回) 大会運営	医用画像情報学会	平成29年1月28日	福岡	大学教員、放射線技師	約100名
6		第12,13,14回消化管CT技術研究会企画	消化管CT技術研究会	平成28年4月15日	横浜	大学教員、放射線技師	10名
7		第12回消化管CT技術研究会運営	消化管CT技術研究会	平成28年6月4日	京都	医師、大学教員、放射線技師	150名
8		第12回消化管CT技術研究会講演「最新の画像操作技術」	消化管CT技術研究会	平成28年6月4日	京都	医師、大学教員、放射線技師	150名
9		第29回日本消化器画像診断情報研究会 大腸画像解析法指導講演	日本消化器画像診断情報研究会	平成29年2月12日	福岡	医師、大学教員、放射線技師	約100名
10		RPTE-D-16及び、RPTE-D-17 査読	Radiological Physics and Technology誌	平成28年度	—	—	—
11	教授 小倉明夫	第72回日本放射線技術学会総会学術大会	日本放射線技術学会	平成28年4月14~17日	横浜市	研究者	5000名
12		日本IHE協会社員総会	日本IHE協会	平成28年6月22日	東京	役員	25名
13		医療安全全国共同行動 社員総会	医療安全全国共同行動	平成28年6月30日	東京	役員	30名
14		JRC 理事会	日本ラジオリジナー協会	平成28年7月25日	東京	理事	20名
15		JART-JSRT 共催公開セミナー	JART、JSRT	平成28年8月27日	京都	会員、市民	113名
16		ミヤンマ医療機器人材育成研究会	ミヤンマ医療機器人材育成研究会	平成28年9月26日	東京	文科省、厚労省、経産省	30名

## 目 - 1. 学会活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
17		市民公開講座	日本放射線技術学会	平成28年11月26日	広島	市民	126名
18	佐々木浩二	日本医学物理学会 代議員	日本医学物理学会	平成28年度	—	—	—
19		日本医学物理学会 QA/QC委員会	日本医学物理学会	平成28年度	—	—	—
20		群馬放射線腫瘍研究会 世話人	群馬放射線腫瘍研究会	平成28年度	—	—	—
21		日本放射線技術学会 演題審査委員	日本放射線技術学会	平成28年度	—	—	—
22		日本放射線治療専門放射線技術師認定機構 試験問題作成委員	日本放射線治療専門放射線技術師認定機構	平成28年度	—	—	—
23		Journal of Radiation Research 査読者	The Japan Radiation Research Society and Japanese Society for Radiation Oncology	平成28年度	—	—	—
24		Radiological Physics and Technology 査読者	Japanease Society of Radiological Technology and the Japan Society of Medical Physics	平成28年度	—	—	—
25	上原真澄	第44回日本放射線技術学会秋季学術大会教育講座 (MRI) 座長	日本放射線技術学会	平成28年10月14日	埼玉県大宮市	診療放射線技術師	約100名
26	原孝光	世話人	福島県核医学研究会	平成28年度	—	—	—
27	根岸徹	第72回日本放射線技術学会総会学術大会	日本放射線技術学会	平成28年4月14日～17日	横浜市	大学教員、放射線技術師、医師、学生など	4765名
28		平成28年度関東甲信越診療放射線技術師学術大会	日本診療放射線技術学会	平成28年5月14、15日	大宮市	大学教員、放射線技術師、医師、学生など	700名
29		第70回日本放射線技術学会東京支部春期学術大会	日本放射線技術学会東京支部	平成28年5月21、22日	江戸川区	大学教員、放射線技術師、医師、学生など	500名
30		日本放射線技術学会関東支部DR研究会セミナ一	日本放射線技術学会	平成28年7月9日	大宮市	大学教員、放射線技術師、医師、学生など	100名
31		日本放射線技術学会計測部会セミナ一	日本放射線技術学会	平成28年9月10、11日	稲敷市	大学教員、放射線技術師、医師、学生など	15名

32				日本放射線技術学会計測部会セミナー	日本放射線技術学会	平成28年9月24、25日	名古屋市	大学教員、放射線技師、医師、学生など	15名
33			第44回日本放射線技術学会秋季学術大会	日本放射線技術学会	平成28年10月13日～15日	大宮市	大学教員、放射線技師、医師、学生など	1750名	
34			第25回日本乳癌検診学会学術総会	日本乳癌検診学会	平成28年11月4、5日	久留米市	大学教員、放射線技師、医師、学生など	500名	
35			第63回関東支部研究発表大会	日本放射線技術学会関東支部	平成29年1月28、29日	宇都宮市	大学教員、放射線技師、医師、学生など	500名	
36			第26回日本乳癌画像研究会	日本乳癌画像研究会	平成29年2月4、5日	横浜市	大学教員、放射線技師、医師、学生など	300名	
37			第50回デジタルマンモ講習会	日本乳癌検診中央精度管理機構	平成29年3月11、12日	仙台市	放射線技師	80名	
38			マンモグラフィポジショニング講習会	日本診療放射線技師会群馬支部	平成29年3月19日	前橋市	放射線技師	15名	
39	准教授	杉野 雅人	日本保健物理学会国民線量評価委員会	日本保健物理学会	平成27年8月～平成28年3月	—	環境放射線有識者	12名	
40	准教授	五十嵐 博	平成28年度 群馬県がん検診エック ス線撮影従事者講習会の運営	一般社団法人群馬県診療放射線技師会	平成28年10月11日、 11月8日、12月13日	本学	診療放射線技師	延166名	
41			日本放射線カウンセリング学会 理事・倫理委員長・編集委員・査読委員・相談員	日本放射線カウンセリング学会	平成28年度	—	診療放射線技師	—	
42			日本診療放射線学教育学会 評議員	日本診療放射線学教育学会	平成28年度	—	診療放射線技師	—	
43			大山人間科学研究会 副理事長	大山人間科学研究会	平成28年度	—	心理学研究者等	20名	
44			一般社団法人群馬県診療放射線技師会 常務理事・学術研修部長・教育部長	一般社団法人群馬県診療放射線技師会	平成28年度	—	診療放射線技師	—	
45			公益社団法人日本診療放射線技師会 医療被ばく安全管理委員・教育委員・査読者	公益社団法人日本診療放射線技師会	平成28年度	—	診療放射線技師	—	
46			日本医療マネジメント学会 群馬県支部 幹事	日本医療マネジメント学会 群馬県支部	平成28年度	—	県内医療従事者	—	
47	准教授	佐藤 哲大	電子情報通信学会和文論文誌D査読委員	電子情報通信学会	平成28年度	本学	投稿論文	1件	

## 目次 1. 学会活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
48	准教授 渡部 晴之	日本放射線技術学会雑誌 査読者	日本放射線技術学会	平成28年度	—	—	—
49	准教授 林 則夫	日本放射線技術学会第72回総会学術大会 司会、座長	日本放射線技術学会	平成28年4月16日	横浜	放射線技術師、研究者	—
50		EZRによるMR研究における統計処理	日本放射線技術学会撮影部会	平成28年8月20日	仙台	放射線技術師、研究者	約30名
51		統計処理演習	日本放射線技術学会撮影部会	平成28年8月20日	仙台	放射線技術師、研究者	約30名
52		PCへのデータの取込みとデータ解析実習	日本放射線技術学会撮影部会	平成28年8月20日	仙台	放射線技術師、研究者	約30名
53		第44回日本放射線技術学会秋季学術大会:JSRT撮影部会 MRIセミナー紹介	日本放射線技術学会	平成28年10月13日	大宮	放射線技術師、研究者	—
54		第44回日本放射線技術学会秋季学術大会 座長、司会	日本放射線技術学会	平成28年10月13日	大宮	放射線技術師、研究者	—
55		第7回MR基礎セミナー:MR信号と共鳴周波数	日本放射線技術学会中四国支部	平成28年12月4日	高松	放射線技術師、研究者	約20名
56		第7回MR基礎セミナー:MR装置の品質管理と性能評価	日本放射線技術学会中四国支部	平成28年12月4日	高松	放射線技術師、研究者	約20名
57		第7回MR基礎セミナー:装置を用いたファントム撮像	日本放射線技術学会中四国支部	平成28年12月4日	高松	放射線技術師、研究者	約20名
58		第7回MR基礎セミナー:PCを用いた画像解析	日本放射線技術学会中四国支部	平成28年12月4日	高松	放射線技術師、研究者	約20名
59		日本放射線技術学会雑誌 編集委員	日本放射線技術学会	平成28年度	—	—	—
60		日本放射線技術学会 撮影部会委員	日本放射線技術学会	平成28年度	—	—	—
61		Radiological Physics and Technology 誌 査読者	日本放射線技術学会	平成28年度	—	—	—
62		Magnetic Resonance in Medical Science 誌 査読者	日本放射線技術学会	平成28年度	—	—	—
63		医用画像情報学会雑誌 査読者	日本放射線技術学会	平成28年度	—	—	—
64		研究会 幹事	群馬 MR 研究会	平成28年度	—	—	—

65			研究会 代表世話人	群馬 Gyro Users Meeting	平成28年度	—	—	—
66	助教	米 持 圭 太	第33回日本核医学技術学会関東地方 会総会大会	日本核医学技術学会	平成28年5月14日～15 日	群馬	医師、大学教 員、診療放射 線技師	約150名
67			第61回群馬県核医学研究会	群馬県核医学研究会	平成28年5月21日	群馬	医師、大学教 員、診療放射 線技師	約50名
68			第23回臨床画像診断懇話会テフニカ ル分科会	臨床画像診断懇話会テフニカ ル分科会	平成28年6月14日	群馬	大学教員、診 療放射線技師	約30名
69			第62回群馬県核医学研究会	群馬県核医学研究会	平成28年11月12日	群馬	医師、大学教 員、診療放射 線技師	約50名
70			第24回臨床画像診断懇話会テフニカ ル分科会	臨床画像診断懇話会テフニカ ル分科会	平成29年2月1日	群馬	大学教員、診 療放射線技師	約30名

## II - 2. 一般住民・団体を対象とした講演・研修

### 一般住民・団体を対象とした講演・研修 [看護学部]

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
1	教授 藤基 講師 塩ノ谷朱美 講師 鈴木美雪 講師 坪井りえ	華麗に加齢講座パート3 颯爽と歩いて健康になろう！	前橋市上沖町自治会	平成28年9月24日	前橋市上沖町公民館	住民	約30名
2	教授 横山京子 講師 益子直明 講師 富永方尚 助手 高野徳子 非常勤助手	群馬県立県民健康科学大学へようこそ！	前橋市立桃木小学校	平成28年6月16日	県立県民健康科学大学 第2看護実習室	小学2年生	65名
3	教授 中西陽子	死と向き合う人々とその家族を支える看護	群馬県立伊勢崎清明高等学校	平成28年7月7日	群馬県立伊勢崎清明高等学校	高校生	33名
4	教授 肥後すみ子	「在宅療養者の健康状態に関する観察の基本」講義	群馬県歯科衛生士会	平成29年3月26日	群馬県生涯学習センター	歯科衛生士	約35名
5	准教授 森川功	婚姻と生殖	カトリック碑文谷教会	平成28年4月16日～ 平成29年3月18日	カトリック碑文谷教会	カトリック教会にて学式予定の者	120名 (延人数)
6	准教授 岩波浩美	第22期救急科「観察」	群馬県消防学校	平成28年10月19、21、 25、26日	群馬県消防学校	消防学校救急科受講者	—
7		実習指導者講習会「実習指導の原理」	群馬県看護協会	平成28年5月17、24、 31日、6月9、16日	群馬県看護研修センター	看護師	70名
8		看護学研究計画書の作成	群馬県立県民健康科学大学地域連携センター	平成28年4月23日	群馬県立県民健康科学大学	看護師	約50名
9		「研究」研修	東京都立看護専門学校	平成28年8月18、19日	東京都立南多摩看護専門学校	専門学校教員	8名
10	准教授 清水裕子	群馬県がんピアサポーターフォローアップ研修	群馬県健康福祉部保健予防課がん対策推進室	平成29年3月22日	群馬県庁	患者、家族等	—
11	講師 高橋裕子	思春期ピアカウンセリング養成セミナー(前期コース)	群馬ピアカウンセリング研究会	平成28年6月25、26日 7月2、3日	高崎健康福祉大学	大学生	約40名
12		思春期ピアカウンセリング養成セミナー(後期コース)	群馬ピアカウンセリング研究会	平成29年2月4、5日	高崎健康福祉大学	大学生	約30名
13	講師 益子直明 講師 橋本晴美	たばこと健康	前橋市三保町二丁目自治会	平成28年11月20日	群馬県立県民健康科学大学	住民	約20名
14	講師 福島昌子	骨粗鬆症とは	前橋市三保町自治会	平成29年5月29日	群馬県立県民健康科学大学	住民	約50名

## 【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
1 教授	小倉敏裕	簡易脳波計を使用した画像処理装置の開発展示	ヘルスケア産業展	平成28年10月28日	ビエント高崎	県民	約100名
2		集中して見るだけで拡大表示する装置の開発発表展示	第12回群馬産学官金連携推進会議	平成28年8月1日	前橋商工会議所	群馬産学官金連	約100名
3		「グローバルゼーション (globalization) って何？ 群馬の私に 関係あるの？」	第1回国際交流セミナー開催	平成28年6月1日	本学	学生、教員、県民	約100名
4		「Knowing the World, Knowing Japan - 世界を知って、日本を知る -」他	第2回国際交流セミナー開催	平成28年11月2日	本学	学生、教員、県民	約100名
5 教授	上原真澄	桐生大学ISO環境教育講演会「放射線と健康」	桐生大学	平成28年9月23日	桐生大学	学生、教職員	約300名
6 准教授	五十嵐博	平成28年度第2回安全適正就業担当者研修会「うっかりミスはなぜ起きる」	群馬県長寿社会づくり財団 (群馬県シルバー人材センター連合会)	平成29年1月27日	群馬県社会福祉総合センター	シルバー人材センター関係者	80名

## II - 3. 保健医療専門職を対象とした講演・研修

### 保健医療専門職を対象とした講演・研修 [看護学部]

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
1 教授 講師 講師 講師	藤基 ノ谷朱美 塩美雪 鈴木りえ	群馬県看護協会保健師職能研修会 「職場でできる！実践力アップ事例検 討会～みて・考え・理解して～」	群馬県看護協会	平成28年9月10日	群馬県看護教育センター	保健師、看護 師	38名
2 教授	行田智子	養育支援訪問員の養成講座 家族の強みと課題の評価～支援計画 の立て方～	HEALTHY FAMILY はままつ	平成28年10月29日	浜松市福祉交流センター	看護職、保育 士等	約20名
3 教授	中西陽子	看護実務者研修「ターミナルケアにつ いて」	群馬県介護高齢課		群馬県庁	介護士	—
4 教授 助教 助手	野太郎 藤正樹 佐大澤	平成28年度認定看護管理者制度 ファーストレベル教育課程 (看護情 報論)	群馬県看護協会	平成28年8月30日、 9月1日、7日、8日	群馬県看護教育センター	看護師	60名
5 教授	狩野太郎	国立療養所栗生楽泉園回想法研修	(地域貢献活動研究支援の一環と して開催)	平成28年11月15日	国立療養所栗生楽泉園	看護師、介護 職員	40名
6 教授	山下暢子	群馬県実習指導者講習会「看護論」	群馬県	平成28年5月19日、26 日、6月6日、13日、20日	群馬県看護協会	実習指導者	約70名
7 教授		和歌山県実習指導者講習会「看護教育 計画及び評価」	和歌山県	平成28年8月3日～ 8月4日	和歌山県看護協会	実習指導者	約40名
8 教授		前橋赤十字病院臨床指導者講習会「看 護学実習に関する基礎的知識の理解 と活用」	前橋赤十字時病院	平成28年9月9日	前橋赤十字時病院	臨床指導者	約40名
9 教授		IMS実習指導者講習会「看護論」	IMSグループ	平成28年12月7日、15日、 23日	IMS横浜国際看護専門学校	実習指導者	53名
10 准教授	大澤真奈美	群馬県公衆衛生看護学実習等指導者 研修会 講義「実習指導の展開方法－保健事 業プログラムにおける実習指導の考 え方と方法－」	群馬県公衆衛生看護学教育連絡 会議 群馬県医務課	平成28年4月25日	群馬県庁	保健師、公衆 衛生看護学大 学教員	57名
11 准教授 講師 講師 講師	大澤真奈美 ノ谷朱美 塩美雪 鈴木りえ	群馬県公衆衛生看護学実習等指導者 研修会 グループワークショップ、書記、総括	群馬県公衆衛生看護学教育連絡 会議 群馬県医務課	平成28年4月25日	群馬県庁	保健師、公衆 衛生看護学大 学教員	49名
12 准教授	大澤真奈美	群馬県新任保健師研修会 講義「地域診断の実際」	群馬県医務課	平成28年9月15日	群馬県庁	平成28年度 に県・市町村 に就職した保 健師	30名

13		群馬県保健師助産師 看護師実習指導者講習会「保健師課程」	群馬県	平成28年5月23日	群馬県看護協会	実習指導者	約70名
14		認定看護管理者ファーストレベル教育課程「看護専門職論」	群馬県看護協会	平成28年8月25日	群馬県看護協会	看護職	66名
15	准教授 講師 講師 講師	大澤 真奈美 塩ノ谷 朱美 鈴木 美雪 坪井 りえ	群馬県新任保健師研修会 グループワーク「地域診断の実際」(グループ発表・まとめ)	平成29年2月28日	群馬県立県民健康科学大学	平成28年度に県・市町村に就職した保健師	30名
16	准教授	飯田 苗 恵	平成28年度 看護研究支援事業看護研究セミナー「看護研究における倫理と手続き」 講師	平成28年5月14日	群馬県立県民健康科学大学	看護職	54名
17			平成28年度 認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程 「ヘルスケアサービス管理論」 講師	平成28年8月19日	群馬県看護教育センター	看護職	33名
18			平成28年度 新潟県難病医療ネットワーク ワーク医療従事者研修会(応用編) 新潟県難病相談支援センター 第12回難病従事者研修会 講師	平成28年11月8日	新潟ユニゾンプラザ	保健・医療・福祉関係者	約120名
19			平成28年度群馬県神経難病患者療養 支援実務者研修会 事例検討会 助 言者	平成28年11月28日 平成29年2月16日	群馬県庁	保健所保健師	約40人
20			平成28年度訪問看護研修(指導者編) 「指導方法と評価」 講師	平成28年11月29日	群馬県看護教育センター	訪問看護師	17名
21			平成28年度群馬県多職種連携研修会 講師	平成29年3月7日	ぐんま男女共同参画センター	訪問看護師、 介護職等	約20名
22	准教授	森 川 功	看護職に求められる倫理	平成28年8月2日、9月5日	埼玉地域看護研修センター	看護師	約300名 (延人数)
23			看護の中の倫理	平成28年8月19日、9月2日	群馬県看護教育センター	看護師	約200名 (延人数)
24			看護職に求められる倫理	平成28年9月13日、14日	宮城県看護協会会館・看護研修センター	看護師	約150名 (延人数)
25	准教授	廣 瀬 規 代 美	看護研究指導	平成28年5月～ 平成29年3月	本学、沼田病院	看護師	5名
26	准教授	清 水 裕 子	実習指導者講習会「看護教育課程： 教育課程概論」	平成28年5月18日	群馬県看護教育センター	保健師、助産師、看護師	約90名
27			看護研究指導・看護研究発表会	平成28年5月27日～平成29年2月28日(6日間)	高崎総合医療センター	当該施設看護職員	30名・ 80名
28			看護研究個別支援	平成28年度	群馬県立県民健康科学大学	渋川医療センター 看護師	4名

## II - 3. 保健医療専門職を対象とした講演・研修

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
29		新人看護職員研修事業 教育担当者研修 [教育に関する基礎知識]	群馬県健康福祉部医療介護局医務課看護係	平成28年6月20日	群馬県看護教育センター	保健師、助産師、看護師	約80名
30		認定看護管理者ファーストレベル教育課程「看護情報の倫理的側面と対応」	群馬県看護協会	平成28年9月29日	群馬県看護教育センター	保健師、助産師、看護師	66名
31		「多職種連携とは、看護師の業務範囲と役割について」	群馬県健康づくり財団	平成29年3月21日	群馬県健康づくり財団	財団職員	約150名
32	准教授 龍野 浩 寿	講演「臨床で行う看護研究のすすめ方」	一般社団法人日本精神科看護協会秋田県支部	平成28年5月17日	秋田県生涯学習センター	精神科病院に勤務する看護師	60名
33		看護研究研修会及び研究グループの研究指導	公益財団法人復光会総武病院	平成28年7月～平成29年2月までの5回	総武病院内研修室	総武病院に勤務する看護職員	30名
34		看護研究発表会講評	一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部	平成28年10月29日	島根県立中央病院2F大研修室	精神科病院に勤務する看護師	80名
35		看護研究発表会講評	一般社団法人日本精神科看護協会群馬県支部	平成28年11月7日	前橋テルサ	精神科病院に勤務する看護師	80名
36		講演「臨床で行う看護研究のすすめ方」	一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部	平成29年1月21日	島根県立男女共同参画センターあすてらす	精神科病院に勤務する看護師	80名
37		看護研究個別支援	群馬県立県民健康科学大学地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大学	原町赤十字病院看護師	3名
38	講師 塩ノ谷 朱美	群馬県新任保健師研修会グループワーク「課題を共有して目標を考えよう」(グループワーク助言)	群馬県医務課	平成28年10月18日	群馬県立県民健康科学大学	平成28年度に県・市町村に就職した保健師	30名
39	講師 講師 鈴木 美 雪 坪 井 り え	事例検討会	群馬県保健師(東毛地区有志)	平成28年12月6日	太田保健福祉事務所	保健師	18名
40	講師 講師 鈴木 美 雪 坪 井 り え	事例検討会	群馬県保健師(東毛地区有志)	平成29年2月28日	太田保健福祉事務所	保健師	20名
41	講師 垣上 正 裕	看護研究個別支援	群馬県立県民健康科学大学地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大学	看護職者	1名

42			看護研究継続支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大 学	看護職者	2名
43	講師	服部美香	基調講演「看護師の問題解決力向上への支援 - 質の高い看護の提供をめざして -」	日本看護教育学会	平成28年8月27日	千葉大学けやき会館	看護職者	289名
44			平成28年度看護学生実習指導者講習会 指導案作成演習	埼玉県看護協会	平成28年7月25日～ 8月10日	埼玉高齢者介護研修センター	看護職者	133名
45			日本看護教育学会 定例会発表	日本看護教育学会	平成28年10月22日	千葉	学会員	35名
46	講師	福島昌子	看護研究個別支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大 学	看護職者	3名
47	講師	樋口友紀	看護研究個別支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大 学	看護職者	3名
48			看護研究個別支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大 学	看護職者	3名
49	講師	橋本晴美	看護研究個別支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大 学	看護職者	1名
50			看護研究継続支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大 学	看護職者	1名
51	講師	福島昌子	看護研究個別支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大 学	看護職者	3名
52	講師	富永明子	看護研究支援	小児医療センター医療安全管理室	平成28年4月～ 平成29年2月	小児医療センター	看護師	1名
53			プリセプターフォローアップ研修	県立病院連携事業	平成28年5月27日、9月 12日 平成29年2月27日	小児医療センター	看護師 助産師	20名
54			新人看護師研修「看護過程」	関越中央病院看護部	平成28年6月2日	関越中央病院	看護師	20名
55			看護研究支援	小児医療センター小児集中治療室	平成28年12月14日	小児医療センター	看護師	3名
56			プリセプター研修	県立病院連携事業	平成29年3月13日	小児医療センター	看護師 助産師	25名
57	講師	木村美香	看護研究個別支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大 学	看護職者	2名
58			看護研究継続支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	平成28年度	群馬県立県民健康科学大 学	看護職者	2名

## II - 3. 保健医療専門職を対象とした講演・研修

### 【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
1 教授	下瀬川正幸	シンポジウム「医療情報の利活用に関する留意事項」(第44回日本放射線技術学会秋季学術大会医療情報部会シンポジウム)	日本放射線技術学会	平成28年10月14日	大宮ソニックシティ	診療放射線技師等	約200名
2 教授	佐々木浩二	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 国際協力型先端医療医学物理学指導者コース講演会 講師 「これからのMU検証を考える -IMRT, VMATの検証は?-」	関東国際がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	平成28年12月3日	本学 多目的ホール	医学物理士、診療放射線技師、大学院生	62名
3		がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 国際協力型先端医療医学物理学指導者コース講習会 講師 「線量計の相互校正を極める」	関東国際がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	平成29年2月4日	群馬大学医学部附属病院	医学物理士、診療放射線技師、大学院生	30名
4		第32回日本診療放射線技術者学術大会講演「がん放射線治療機器と技術の進歩 -放射線技師の役割-」	日本診療放射線技師会	平成28年10月28日	長川国際会議場	診療放射線技師、学生	150名
5		放射線治療 医学物理講義 講師	磐田市立総合病院	平成28年6月20日	磐田市立総合病院	医学物理士、診療放射線技師、医師	20名
6 教授	上原真澄	フレッシュアップセミナー 胸部単純撮影講座	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	平成28年4月24日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	11名
7 准教授	根岸徹	千葉撮影技術研究会 (DRL)	千葉撮影技術研究会	平成28年7月3日	千葉市	大学教員、放射線技師、学生など	150名
8		X線装置研究会 (緑陰講座)	X線装置研究会	平成28年8月27日	小田原市	大学教員、放射線技師、学生など	30名
9		デジタル一般撮影ミーティング (DRL)	デジタル一般撮影ミーティング	平成28年9月3日	中央区	大学教員、放射線技師、学生など	120名
10		マンモグラフィ認定講習会	ぐんまマンモグラフィ向上委員会	平成28年12月10、11日	前橋市	放射線技師	50名
11 准教授	杉野雅人	環境放射線の今昔話	群馬県核医学研究会、富士フィルムRIファーマ株式会社	平成28年11月12日	群馬大学医学部附属病院	放射線科医、診療放射線技師	約80名
12 准教授	五十嵐博	フレッシュアップセミナー「医療安全」 「感染対策」	日本診療放射線技師会、群馬県診療放射線技師会	平成28年4月24日	本学	診療放射線技師	10名

13			こたえる形知(かたち)	第32回日本診療放射線技師学術大会	平成28年9月17日	長良川国際会議場	診療放射線技師	50名
14			平成28年度 第3回 被ばく線量適正化講習会[医療被ばく適正化に向けた現在の認定事業]	公益社団法人日本診療放射線技師会	平成28年12月11日	APホール大阪駅前 APホールⅡ	診療放射線技師	48名
15			平成29年(一社)長野県臨床検査技師会・(一社)長野県診療放射線技師会合同研修会「うっかりミスはなぜ起きる—そのメカニズムと防止対策を考える—」	(一社)長野県臨床検査技師会・(一社)長野県診療放射線技師会	平成29年1月21日	松本東急REIホテル	臨床検査技師・診療放射線技師	100名
16			業務拡大に伴う統一講習会 実習指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	平成28年6月19日、10月23日、平成29年2月19日	本学	診療放射線技師	延114名
17			平成28年度被ばく相談に役立つ研修会「カウンセリング演習」、「被ばく相談に役立つ心理学の知識(社会学)」	日本放射線カウンセリング学会	平成29年3月19日、20日	桑名市総合医療センター	診療放射線技師	20名
18	准教授	林 則 夫	MRIの勉強法・研究の進め方	第69回千葉撮影技術研究会	平成28年7月3日	千葉メデイカルセンター	診療放射線技師	100名

## II - 4. 行政組織での活動等

### 行政組織での活動等 [看護学部]

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
1	藤基子 宮崎紀子 大澤真奈美 塩ノ谷美雪 鈴木りえ子 坪井康重子 赤堀八重子 大学院 生(博士後期 課程)	様東村国保データ分析支援	群馬県立県民健康科学大学、榛 東村	平成28年9月～ 平成29年3月	—	—	—
2	横山京子	県立病院総合研究選考・評価委員	群馬県病院局	平成28年6月30日 平成29年3月16日	群馬県庁会議室	県立病院職員	—
3		ぐんま地域・大学連携協議会	群馬県企画部	平成28年5月16日	ぐんま男女共同企画セン ター	群馬県内大 学、短期大学	—
4	行田智子	前橋市水と緑のまちをつくる審議委 員	前橋市公園緑地課	平成28年12月～ 30年3月	—	—	—
5	狩野太郎	群馬県がん診療連携拠点病院連絡協 議会市民講座企画ワーキングメ ンバー	群馬県/群馬県診療連携拠点病 院連絡協議会	平成28年4月～7月	群馬会館	患者・一般市 民	200名
6		平成28年ぐんま認定介護福祉士養成 研修 講師「研究方法」[研究活動に ついて]	群馬県保健福祉部介護高齢課	平成28年9月26日	群馬県介護研修センター	介護福祉士	80名
7		患者目線のがん情報サイト検討ワー キングメンバー	群馬県がん対策室	平成28年6月～	群馬県健康づくり財団	—	—
8	大澤真奈美	前橋市自立支援給付認定審査委員会	前橋市障害福祉課	平成28年度	前橋市保健所	認定審査の申 請者	約90名
9		前橋市食育推進会議 副委員長	前橋市健康増進課	平成28年度	前橋市保健センター	一般市民	—
10		前橋市環境審議会 委員	前橋市環境政策課	平成28年度	前橋市役所	一般市民	—
11	飯田苗恵	前橋市介護認定審査委員会	前橋市	平成28年度	前橋市職員研修会館	認定審査の申 請者	約700件

12	准教授	森川功	生と死		東京都板橋区役所健康生きがい部長寿社会推進課	平成28年5月9日、16日、23日、30日	板橋区グリーンカレッジ	60歳以上の板橋区民	約500名 (延人数)
13			バイオエシックス		東京都板橋区役所健康生きがい部長寿社会推進課	平成28年12月9日、16日	板橋区グリーンカレッジ	60歳以上の板橋区民	約250名 (延人数)
14	講師	垣上正裕	群馬県立高校教員 平成28年度研修 講座 高校10年目経験者研修 性同一性障害について		群馬県教育委員会	平成28年8月25日	群馬県総合教育センター	県立高校教員	70名
15			平成28年度 公立高等学校・県立特別支援学校等 人権教育推進協議会		群馬県教育委員会	平成28年10月12日	群馬県総合教育センター	県立高校教員・県立特別支援学校教員	120名
16			平成28年度 小学校 人権教育推進協議会		群馬県教育委員会	平成28年10月19日	群馬県総合教育センター	県内公立小学校教員	246名
17			平成28年度 中学校・特別支援学校等 人権教育推進協議会		群馬県教育委員会	平成28年10月26日	群馬県総合教育センター	県内中学校・特別支援学校教員	156名

## 【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
1	教授 瀬川篤記	診療(病理診断)の支援	桐生厚生総合病院	平成28年10月～ 平成29年3月	桐生厚生総合病院	—	—
2	教授 佐々木浩二	放射線・陽子線治療品質管理委員会 外部委員	静岡県立静岡がんセンター	平成28年度	—	—	—
3	教授 原孝光	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所 協力研究員	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所	平成29年3月～	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所	—	—
4	准教授 杉野雅人	みどり市内空間線量率測定に関する監修及びコメント提供	みどり市市民部生活環境課	平成23年5月～現在	—	—	—
5		前橋市内空間線量率測定に関する監修及びコメント提供	前橋市環境部環境政策課	平成23年6月～現在	—	—	—
6		川場村移動教室に関する空間線量率評価及び情報資料提供	川場村役場むらづくり振興課	平成23年7月～毎年1回	—	—	—
7		環境放射線の測定・評価に関する研究協力	量子科学技術研究機構	平成28年5月～現在	—	—	—

## II - 5. 任意団体での活動等

### 任意団体での活動等 [看護学部]

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
1 教授	横山京子	文部科学省 問題解決型高度医療人材養成プログラム【群馬一丸で育てる地域完結型看護リーダー】事業在宅看護・医療推進検討委員会	群馬大学大学院保健学研究科	平成28年7月21日 平成29年3月6日	群馬大学保健学科 新棟2階大学院講義室	—	—
2 教授	行田智子	看護・助産教育支援フォーラム	倫理委員	平成28年度	—	—	—
3 教授	狩野太郎	群馬県がん患者ミーティング2017 企画・実行委員	群馬県がん患者団体連絡協議会	平成29年2月4日	群馬県立図書館	患者・一般市民	90名
4		リレーフォーライフジャパン2016 ぐんま副実行委員長	日本対がん協会、リレーフォーライフジャパンぐんま実行委員会	平成28年4月～12月 開催日:10月8日、9日	ALSOK ぐんま総合スポーツセンター	患者・一般市民ほか	延7300名
5		群馬県がん患者団体連絡協議会 運営委員	群馬県がん患者団体連絡協議会	平成28年度	群馬県健康づくり財団	患者	—
6 教授	高井ゆかり	BMG Geriatrics, Associate editor	BioMed Central	平成28年度	—	—	—
7 准教授	大澤真奈美	群馬県精神科訪問看護交流会	県内精神科訪問看護師	平成28年11月11日(金)	群馬県心の健康センター	精神科訪問看護師等	15名程度
8 准教授 講師 講師	飯田苗恵 鈴木美雪 福島昌子	日本ALS協会群馬県支部 医療顧問 日本ALS協会群馬県支部総会 支援 学生ボランティア調整・同行	日本ALS協会群馬県支部	平成28年5月29日	群馬県社会福祉総合センター	療養者・家族・支援者	約100人
9 准教授 講師 講師 助教	飯田苗恵 鈴木美雪 福島昌子 佐々木馨子	難病看護を考える会	群馬県立県民健康科学大学教員、 県内他大学教員	平成29年3月11日	県立県民健康科学大学	看護職	18名
10 准教授	廣瀬規代美	群馬がん看護研究会 理事・教育委員会委員長	群馬がん看護研究会	平成28年度	群馬大学他	医療者、患者	—
11 准教授	清水裕子	群馬がん看護研究会	理事、教育委員	平成28年度	群馬大学医学部保健学科、他	医療者、患者	—
12		群馬県看護協会	看護師職能I(病院領域)委員長	平成28年度	群馬県看護教育センター	看護師	15名
13 講師	河内直美	群馬県看護協会	学会委員	平成28年度	群馬県看護教育センター	—	—
14 講師	高橋裕子	第46回全国性感教育研究大会	群馬県看護研究会 実行委員	平成28年8月5、6日	前橋テールサ	医師・教員他	約400名

15	講師 講師 講師	益橋 浅見 子 直本 晴美 子 紀美 優子	リレーフォーライフジャパン 2016 参加協力	日本対がん協会、リレーフォー ライフジャパンぐんま実行委員 会	平成28年10月8日～ 10月9日	ALSOK ぐんま総合ス ポーツセンター	がん患者とそ の家族、支援 者	のべ 7300名
16	講師	益子 直紀	第30回 桂萱地区のびゆく子どもの つどい・ふれあいひろば 参加協力	前橋市のびゆくこどものつどい 実行委員会	平成28年5月8日	桂萱公民館	桂萱地区住民 ほか	多数
17			群馬県立小児医療センターいちごの 会(フォントンの会) 参加協力	群馬県立小児医療センター	平成28年10月29日	群馬県立小児医療セン ター	患児とその家 族	多数
18			群馬県立小児医療センタークリスマ ス会 参加協力	群馬県立小児医療センター	平成28年12月10日	群馬県立小児医療セン ター	患児とその家 族	多数
19	講師	中野 あずさ	タツピングタツチ全国大会2016実行 委員会 広報担当	一般社団法人タツピングタツチ 協会	平成28年2月～8月20、 21日	学校法人自由学園	協会会員、 一般市民	約100名
20			セラピューティック・ケア体験会	社会福祉法人前橋あそか会、認 定NPO法人日本セラピュー ティック・ケア協会	平成28年10月30日	あそかまつり会場	来場者、施設 利用者、スタ ッフ	約30名
21			～ゆっくり、やさしく、ていねいに ～ タツピングタツチ体験会	高崎市保育協議会保護者会	平成28年11月27日	高崎市中央公民館	高崎市保育協 議会保護者、 園児ほか	約20名
22	講師 講師	樋口 友紀 福島 昌子	群馬中央病院附属 介護老人保健施 設置まつり参加協力	群馬中央病院附属介護老人保健 施設	平成28年8月6日	群馬中央病院附属介護老 人保健施設	利用者とその 家族ほか	多数
23	講師	橋本 晴美	群馬がん看護研究会 地域貢献委員	群馬がん看護研究会	平成28年度	群馬大学他	医療者、患者	—
24	講師	浅見 優子	群馬がん看護研究会 会計	群馬がん看護研究会	平成28年度	群馬大学他	医療者、患者	—

## II - 5. 任意団体での活動等

### [診療放射線学部]

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
1	下瀬川正幸	医学物理士認定機構 試験委員会委員	一般財団法人医学物理士認定機構	平成28年度	東京	—	—
2	佐々木浩二	放射線治療品質管理委員会 外部委員	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	平成28年度	—	—	—
3	原孝光	研究アドバイザー及び放射線治療品質管理委員	一般財団法人慈山会 医学研究所 付属 坪井病院	平成28年度	—	—	—
4	五十嵐博	群馬県環境アドバイザー	群馬県環境アドバイザー協会	平成28年度	—	—	—
5	杉野雅人、フ ラシックスギ ターサークル	第44回群馬県教育ギター・マンドリン連盟定期演奏会	群馬県教育ギター・マンドリン連盟定期演奏会	平成28年9月18日	—	—	約70名
6	林則夫	桃の木リバーを愛する会：花壇苗植え	桃の木リバーを愛する会	平成28年5月29日	桃の木川	—	50名
7		桃の木リバーを愛する会：草刈	桃の木リバーを愛する会	平成28年8月9日	桃の木川	—	20名
8		桃の木リバーを愛する会：花壇苗植え	桃の木リバーを愛する会	平成28年12月14日	桃の木川	—	20名

## II - 6. 他教育機関非常勤講師

### 他教育機関非常勤講師 [看護学部]

職位	氏名	活動・テーマ(科目名等)	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
1	行田 智子	妊娠期の助産診断技術学	高崎健康福祉大学大学院	平成28年4月1日～ 9月25日	高崎健康福祉大学大学院	助産専攻院生	2名
2	中西 陽子	看護学	群馬大学教育学部	平成28年8月23日～ 8月26日	群馬大学荒牧キャンパス	教育学部学生	16名
3	宮崎 有紀子	保健医療統計学特論	群馬パース大学大学院保健科学研究科	平成28年4月30日～ 7月30日	群馬パース大学	大学院生	4名
4		地域看護学特論	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科	平成28年6月9日～ 6月23日	高崎健康福祉大学	大学院生	1名
5		疫学	高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科	平成28年9月29日～ 平成29年1月30日	高崎健康福祉大学	看護学生	約100名
6		保健統計学	高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科	平成28年12月22日～ 平成29年1月26日	高崎健康福祉大学	看護学生(保健師課程)	20名
7		地域母子保健学	高崎医師会看護専門学校 助産学科	平成28年7月4日	高崎医師会看護専門学校	助産学科学生	約20名
8	宮崎 有紀子 狩野 太郎	文献検索・文献購読	高崎健康福祉大学認定看護師教育課程 認知症看護	平成28年6月8日～ 6月15日	高崎健康福祉大学	認定看護師教育課程履修生	30名
9	石川 良樹	人体の構造と機能 I (生化学)	茨川看護専門学校	平成28年4月14日～ 5月19日	茨川看護専門学校	看護専門学校生	40名
10		薬理学	群馬大学	平成28年9月16日	群馬大学医学部	医学生	約110名
11		細胞生物学	群馬大学	平成28年12月9日	群馬大学医学部	医学生	約110名
12	狩野 太郎	本庄児玉看護専門学校非常勤講師(研究の基礎 文献検索入門、研究方法論(1)調査・実験研究)	本庄児玉看護専門学校	平成28年12月5日	本庄児玉看護専門学校	看護学生	40名
13	大澤 真奈美	地域看護方法 「精神保健福祉対策と保健師活動」 「難病対策と保健師活動」	千葉大学看護学部	平成28年6月22日	千葉大学看護学部	大学3年次生	約90名
14		産業保健	足利工業大学看護学部	平成28年9月～12月	足利工業大学看護学部	大学2年次生	約80名

## II - 6. 他教育機関非常勤講師

職位	氏名	活動・テーマ(科目名等)	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
15	大澤真奈美 塩ノ谷朱美 鈴木美雪 坪井りえ	保健環境論	上尾中央看護専門学校	平成28年9月8日～ 2月3日	上尾中央看護専門学校	看護学生	80名
16	飯田 苗 恵	地域完結型実習指導論	群馬大学大学院保健学研究科	平成28年8月6日	群馬大学大学院保健学研究科	大学院生 科目履修生 病院看護職	約50名
17		成人看護学各論Ⅱ「神経難病により セルフレケアの再獲得が必要な人の看 護」	茨川看護専門学校	平成28年6月6日	茨川看護専門学校	看護学生	約40名
18	森 川 功	生命倫理	早稲田大学理工学術院	平成28年4月8日～ 7月22日	早稲田大学理工学術院	学生	164名
19		科学技術と倫理	早稲田大学理工学術院	平成28年5月6日～ 5月27日	早稲田大学理工学術院	学生	146名
20		倫理と看護	さいたま市立高等看護学院	平成28年11月4日～ 平成29年2月24日	さいたま市立高等看護学 院	学生	40名
21	岩 波 浩 美	実習指導の評価	群馬大学大学院保健学研究科看 護学講座	平成28年8月20日	群馬大学	看護師 大学院生	約60名
22	廣 瀬 規 代 美	成人看護学各論Ⅱ「喉頭がん」	茨川看護専門学校	平成28年5月2日	茨川看護専門学校	看護学生	40名
23	清 水 裕 子	がん看護学特論「がん看護専門看護 師の役割と実際」	群馬大学大学院保健学研究科	平成28年4月25日	群馬大学大学院保健学研究 科	大学院生	4名
24	鵜生川恵美子	医療英語	前橋東看護学校	平成28年4月14日～ 9月29日	前橋東看護学校	看護学生	30名
25		基礎英語	放送大学	平成28年4月16日、23日 ター ター	放送大学群馬学習セン ター	一般	48名
26	垣 上 正 裕	発達と老化の理解	群馬パース大学福祉専門学校	平成28年4月12日～ 6月21日	群馬パース大学福祉専門 学校	専門学校学生	20名

## [診療放射線学部]

職位	氏名	活動・テーマ(科目名等)	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
1 教授	青木 武生	組織学講義、実習	群馬大学医学部	平成28年7月28日	群馬大学医学部	医学部学生	約100名
2		細胞生物学	群馬大学医学部	平成28年10月21日～10月28日	群馬大学医学部	医学部学生	約100名
3		解剖生理学講義(骨、筋、内臓機能、免疫)	館林高等看護学院	平成28年4月22日～6月10日	館林高等看護学院	看護学生	約60名
4		病理学概論	館林高等看護学院	平成28年10月24日～12月5日	館林高等看護学院	看護学生	約60名
5		解剖学講義	群馬県高等歯科衛生士学院	平成28年4月22日～9月28日	群馬県高等歯科衛生士学院	歯科衛生士学生	約50名
6 教授	瀨川 篤記	臨床実習	群馬大学	平成28年10月～平成29年3月	群馬大学医学部附属病院	医学科学生及び初期研修医	のべ約140名
7 教授	原 孝光	福島県立医科大学 先端核医学講座 特任教授	福島県立医科大学	平成28年11月～平成29年3月	福島県立医科大学	—	—
8		群馬大学腫瘍放射線学講座協力研究員	群馬大学	平成29年3月	群馬大学	—	—
9 准教授	根 岸 徹	X線診断機器学実驗	首都大学東京	平成28年4月1日～9月30日	首都大学東京	診療放射線学科学学生	42名
10		診療画像機器工学Ⅱ(X線診断装置分野)	東京電子専門学校	平成28年4月1日～9月30日	東京電子専門学校	診療放射線学科学学生	76名
11		X線撮影技術学実習Ⅰ	首都大学東京	平成28年10月1日～3月31日	首都大学東京	診療放射線学科学学生	43名
12 准教授	五十嵐 博	医療人間工学	館林高等看護学院	平成28年4月18日～6月1日	館林高等看護学院	看護学生	36名
13		応用講座Ⅰ(画像)	日本医学柔整鍼灸専門学校	平成28年8月20日～12月10日	日本医学柔整鍼灸専門学校	柔道整復学科学生	15名
14 准教授	佐藤 哲大	修士論文研究指導	奈良先端科学技術大学院大学	平成28年10月1日～平成29年3月31日	奈良先端科学技術大学院大学	情報科学研究科博士前期課程学生	2名
15 准教授	林 則夫	金沢大学医薬保健研究域医学系協力研究員	金沢大学	平成28年度	—	—	—

## II - 7. 報道記事

### 報道記事

	報道機関	全国版・地方版 (番組名)	掲載日時	テーマ	職位	氏名
1	上毛新聞	地方版	平成28年5月31日	三俣1丁目住民70人が4キロ完歩－健康科学大で聴講も－	－	－
2	上毛新聞	地方版	平成28年8月1日	再生への課題 (群大病院報告書)	准教授	森川 功
3	上毛新聞	地方版	平成28年11月29日	途上国支援は「同じ目線で」－健康科学大学生が講演－ (学生ボランティア講演会)	－	－
4	上毛新聞	地方版	平成28年12月18日	うっかりミス防止策を説明 健康科学大公開講座	准教授	五十嵐 博
5	上毛新聞	地方版	平成29年1月14日	健康寿命延伸 課題探れ－国保のビッグデータ活用－	－	－
6	日本経済新聞	地方版	平成29年3月17日	健康づくり推進榛東村と協定－群馬の健康科学大－	－	－
7	上毛新聞	地方版	平成29年3月22日	住民の健康増進支援－榛東村と健康科学大が協定－	－	－
8	上毛新聞	地方版	平成29年3月22日	〈時の話題〉：「体に痛みがある時の生活の工夫」に関する講座の実施の様子	教授	高井 ゆかり

## Ⅲ 関連規程

---

# 群馬県立県民健康科学大学地域連携センター設置運営規程

## (設置)

第1条 この規程は、群馬県立県民健康科学大学学則（平成16年群馬県規則第74号）第4条の3第2項の規定に基づき、群馬県立県民健康科学大学地域連携センター（以下「センター」という。）の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

## (目的)

第2条 センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果等を、県民をはじめ、広く教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に対し還元することにより、県民の保健、医療及び福祉の向上に寄与することを目的とする。

## (事業)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次のことに係る事業を実施するものとする。

- (1) 看護学教員養成課程に関すること
- (2) 県内病院等との連携に関すること
- (3) 研究支援に関すること
- (4) 教育・研修に関すること
- (5) 放射線測定等に関すること
- (6) 教育普及に関すること
- (7) その他前条の目的を達成するために必要なこと

## (組織)

第4条 センターには、センター長及び副センター長を置く。

- 2 前条に定める事業を推進し、目的を達成するため、地域連携センター運営会議（以下「センター運営会議」という。）を設置する。
- 3 センター運営会議に、前条の事業を実施するため、地域連携センター運営委員会（以下「センター運営委員会」という。）を置く。
- 4 センター運営会議及びセンター運営委員会は、センター長が主宰する。
- 5 副センター長は、センター長を補佐する。

## (協議及び報告)

第5条 センター長は、センター事業の運営方針や進捗状況等について、大学運営会議に協議及び報告するものとする。

## (事務)

第6条 センター運営会議及び運営委員会の事務は、事務局教務係で処理する。

## (委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、センターの設置運営に関し必要な事項については、学長が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

# 群馬県立県民健康科学大学地域連携センター運営会議 及び地域連携センター運営委員会設置運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、群馬県立県民健康科学大学地域連携センター設置運営規程第7条の規定に基づき、地域連携センター運営会議（以下「センター運営会議」という。）及び地域連携センター運営委員会（以下「センター運営委員会」という。）の組織及び運営等について必要な事項を定めるものとする。

(センター運営会議の組織)

第2条 センター運営会議は、次の構成員によって組織する。

- (1) 地域連携センター長（以下「センター長」という。）及び副センター長
- (2) 学部長
- (3) センター事業の担当者から互選により選ばれた責任者
- (4) 事務局長
- (5) 学外有識者
- (6) 県職員の内からセンター長が必要と認める者
- (7) その他センター長が必要と認める者

(センター運営会議委員の任期)

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営会議の運営)

第4条 センター運営会議は、センター長が招集し、その議長となる。

2 センター長が出席できないときは、センター長が指名する者がその職務を代理する。

3 センター運営会議は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

4 センター運営会議の議事は、出席委員の過半数によりこれを決定し、可否同数のときは議長が決定する。

(センター運営会議の審議事項)

第5条 センター運営会議は、次の事項について審議する。

- (1) 地域連携センターの運営方針に関する事項
- (2) 地域連携センターの事業計画の策定及び評価に関する事項
- (3) 地域連携センターに係る規程の制定又は改廃に関する事項
- (4) その他センター長が必要と認める事項

(センター運営委員会の組織)

第6条 センター運営委員会は、次の構成員によって組織する。

- (1) センター長及び副センター長
- (2) 学部長
- (3) センター事業の担当者から互選により選ばれた責任者
- (4) その他センター長が必要と認める者

(センター運営委員会委員の任期)

第7条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営委員会の運営)

第8条 センター運営委員会は、センター長が招集し、その議長となる。

2 センター長が出席できないときは、センター長が指名する者がその職務を代理する。

3 センター運営委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

4 センター運営委員会の議事は、出席委員の過半数によりこれを決定し、可否同数のときは議長が決定する。

(センター運営委員会の審議事項)

第9条 センター運営委員会は、次の事項について審議する。

(1) 地域連携センターの運営及び事業の実施に関する事項

(2) 地域連携センターの事業計画及び評価の検討に関する事項

(3) 地域連携センターに係る規程の制定又は改廃の検討に関する事項

(4) その他センター長が必要と認める事項

(委員以外の者の出席)

第10条 センター運営会議及びセンター運営委員会の議長は、会議の運営上必要と認めるときは、委員以外の者に出席を求めることができる。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

## 平成 28 年度地域貢献活動報告書

---

発行者 群馬県立県民健康科学大学

〒 371 - 0052 群馬県前橋市上沖町 323 - 1

TEL 027 - 235 - 1211

FAX 027 - 235 - 2501

印刷所 朝日印刷工業株式会社